原始少女と神の玉
Genshi Otome to Kami no Tou
シオミヤイルカ

ILLUSTRATION GALLERY

原始の女と神の塔

Genshi Onna to Kami no Tou

目次

・希望のオタカラ編（前）（後）

・約束のオタカラ編

・幸運のオタカラ編（前）（後）

希望のオタカラ編（前）

「神の塔」

あの塔の下には
なんでも願いの叶う
「オタカラ」が
眠っている――

昔々の
言い伝え

希望のオタカラ編（前）

追い込め
追い込め！
よおし
今日
こそ！

みんなの役に立つんだ!!
はっ
おいキシン！何してる！
お前はひっこんでろ！
やっ
やめろ

げっ
おわっ
!?
まずい
進路が
変わった！
逃げろー！
こっち
来るな！

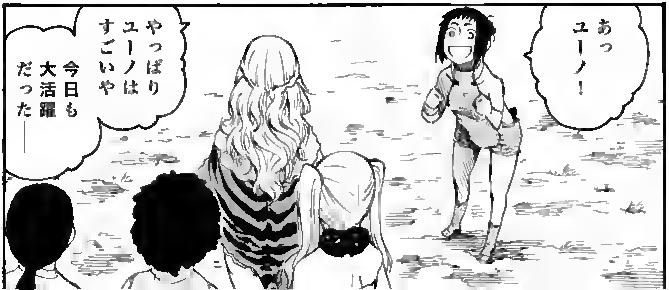
わ
わわわわ
わわわわ
わ
わ
お下がりなさい
!!

ユーノ！

ぐぉん
ぶぉん
今だーっ
すごい

ワー
ワー
ワー

もう向かうとこ敵なしね！
さすが我が村のエース
男共よりよっぽど役に立つわ
ふっ
このくらい出来て当然ですわ
皆さんももっと努力すべきでは？
は…はは…


あっユーノ！
やっぱりユーノはすごいや
今日も大活躍だった——

ね……

……

キ～～～～
シ～ン!?
ぴっ

あはは

ごめんなさ～い

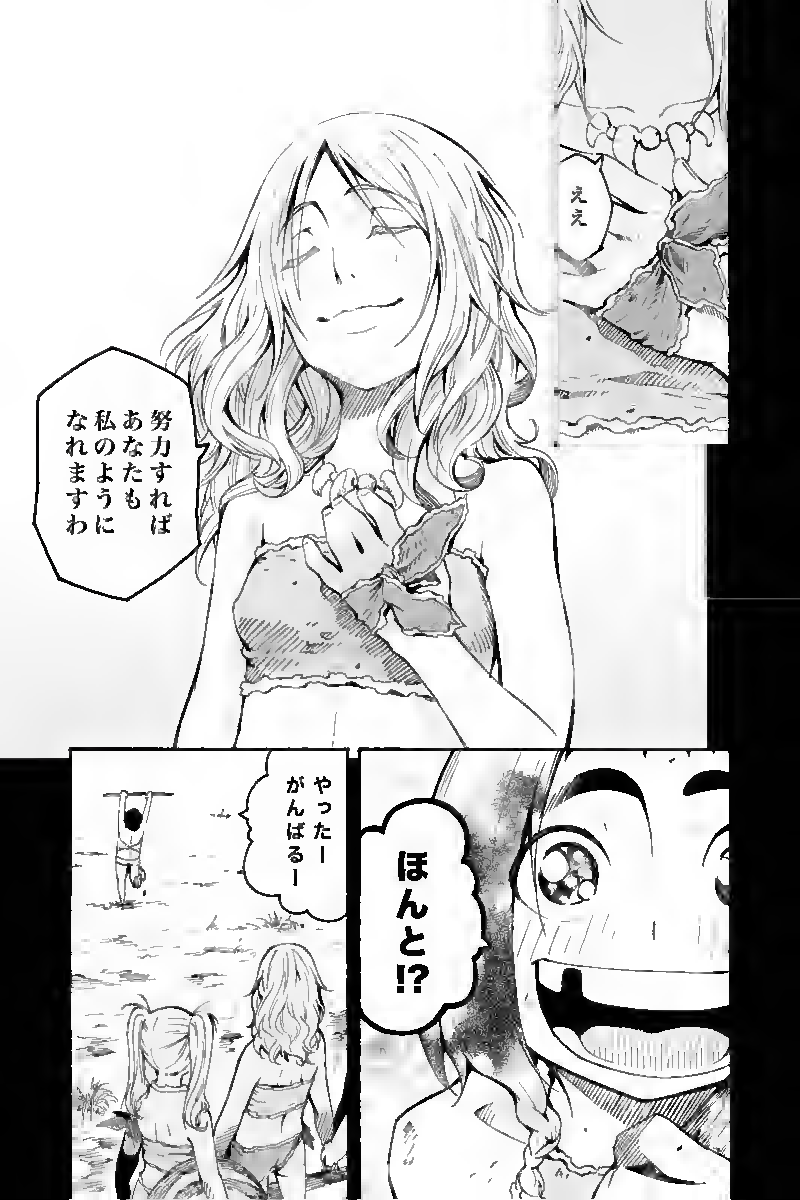
いたた……
まだまだっ
ぐはっ
ぐはっ

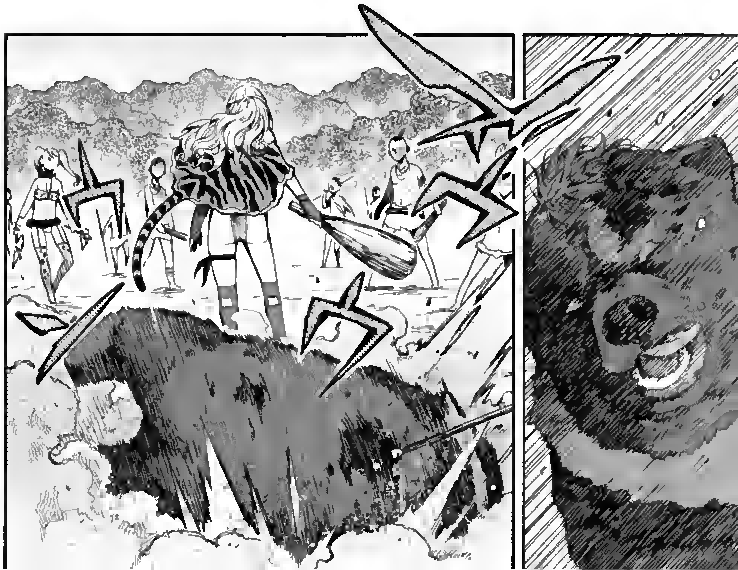
すっ
ご〜い!!
さすが
ユーノ！
これならもう
大人に混じって
狩りに連れてって
もらえるね！
え…
ええ
どうも

きゃっ
ちょっとキシン!?
馴れ馴れしいのよアンタ!
ゾーン
ゾーン
身の程をわきまえたら!?
あ…ごめん…
ええ…と…
レダ?

私の名前はトマキよ!!
同じ村の人間の名前も憶えられないの!?
ファファファ
ご…ごめん
そういうわけじゃ…
だいたいここで何してんのよ
わ…わたしも狩りがしたくて
はあ!?
アンタみたいなグズにはムリよ!!
そこで木の実でも拾ってなさい
ヤダ!
わたしも狩りがいい!
ユーノ!

あのっ
わた……
わたしも……
わたしもユーノみたいになれるかな
……
アンタねえ
っ


ええ
努力すれば
あなたも
私のように
なれますわ
ほんと!?
やったー
がんばるー

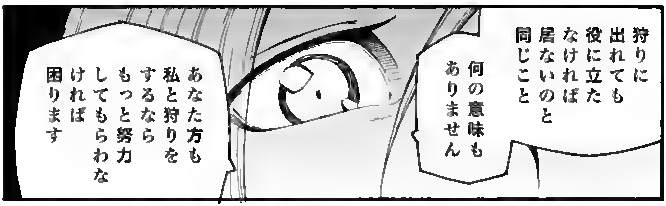
ぎゃっ
べちゃ
あんなの相手にすることないわ
行きましょ
変な子


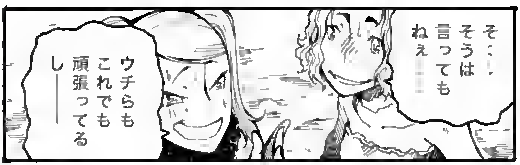
いやあやっぱりキシン抜きだと狩りのスムーズなこと
言えてるー

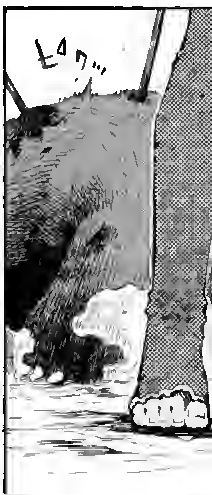
知ってる？ここだけの話なんだけどさ

あの子だけ祝福を受けてないんだって
ウッソー
ほんとよ！お母さん言ってたもん
その証拠にあの子の前には姿を現さないんだって！
きゃーっ
……

先程から
聞いていれば
自分たちは
役に立っている
かのような
物言いですね
えっ
や…
その


狩りに
出れても
役に立た
なければ
居ないのと
同じこと
何の意味も
ありません
あなた方も
私と狩りを
するなら
もっと努力
してもらわな
ければ
困ります


そ…
そうは
言っても
ねぇ……
ウチらも
これでも
頑張ってる
し——

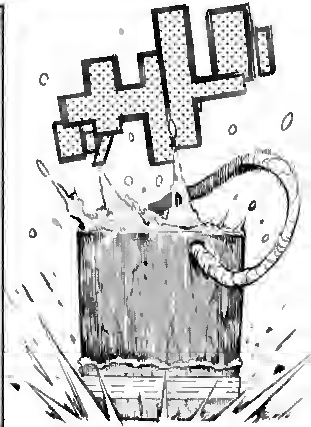

ヒタッ

さ

わ〜〜〜っ
薬と塩を間違えるバカがどこにいる！
お前は水汲みでもしてろ!!

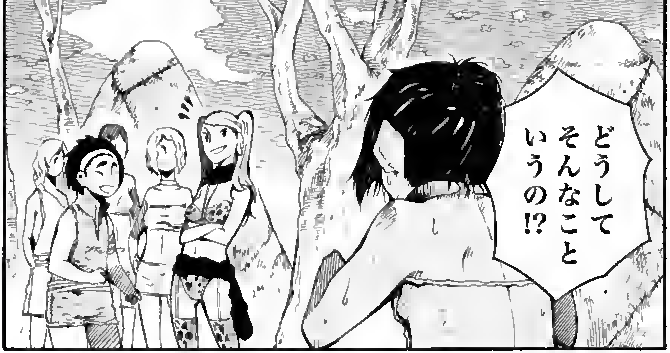
ごめんなさ〜い

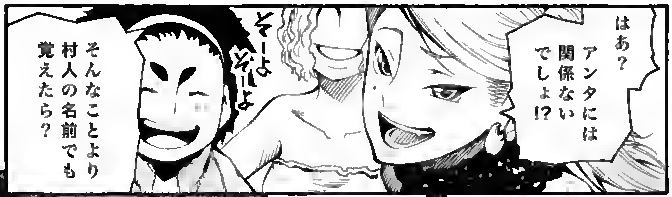
はぁ…
また失敗しちゃった



毎日毎日
雑用
ばっかり
わたしも
狩りに参加
したいなぁ
ザバァ
あっ
みんな
帰って
きた
ザワ
今日もユーノ
大活躍だった
のかな
フンッ
フンッ
どうも
油断してた
ところを
やられた
らしいぜ？
最近態度
デカかった
もんなぁ
あそこまで
利き腕が
やられちゃ
あいつも
お終いだな
え？
誰かケガ
したの？
あ？
ああ
それが
……

そんな……
いい気味
調子に乗ってるからよ
ここんとこひどかったしねー
自業自得だわ
努力が足りてないんじゃありませんか？

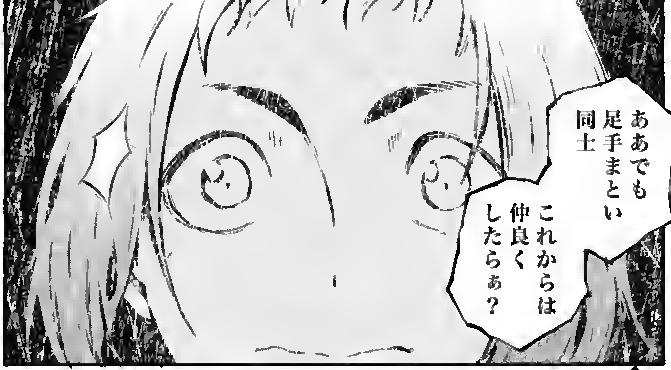

どうして
そんなこと
いうの!?


はあ?
アンタには
関係ない
でしょ!?
そーよ
そーよ
そんなことより
村人の名前でも
覚えたら?

か……っ
カンケー
なくないよ!
友だちだもんっ

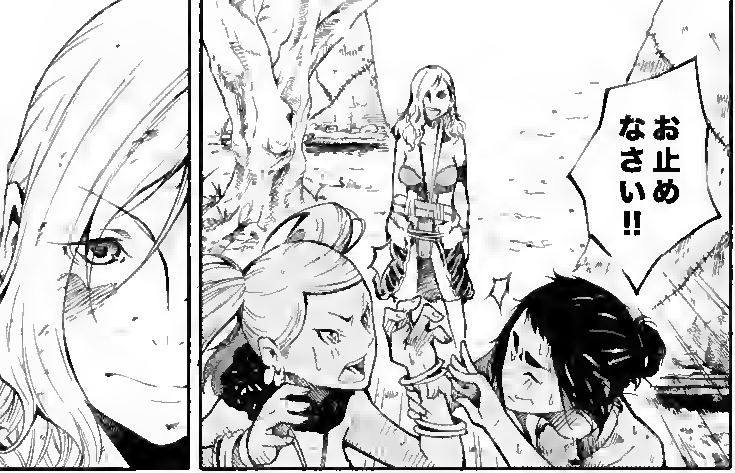
友だち!?
ほんと
バカね
良いこと
教えて
あげる

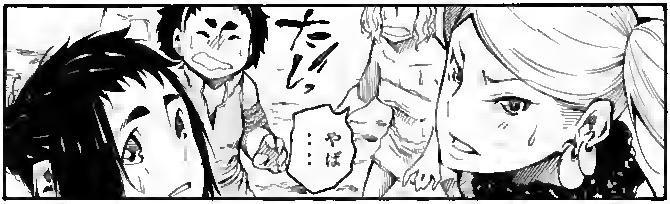
「友だち」
って言葉は
対等な人間に
使うものよ
私も
アイツも
アンタも
友だちな
わけない
じゃない

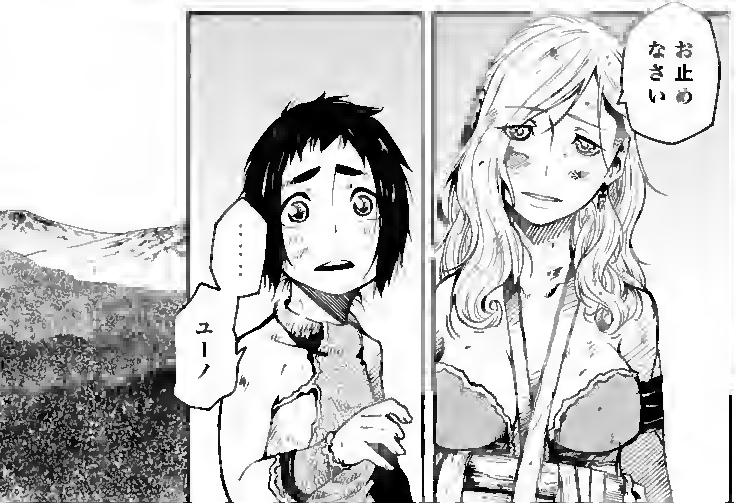

ああでも
足手まとい
同士
これからは
仲良く
したらぁ？

訂正
して！
ユーノは
足手まとい
なんかじゃ
ない！
ユーノは
いつだって
ヒーロー
なんだ!!
きゃっ
訂正
して!!

痛った
わね！
手を
放しな
さいよ！


お止めなさい!!


ナレ
やば……


お止めなさい
……
ユーノ

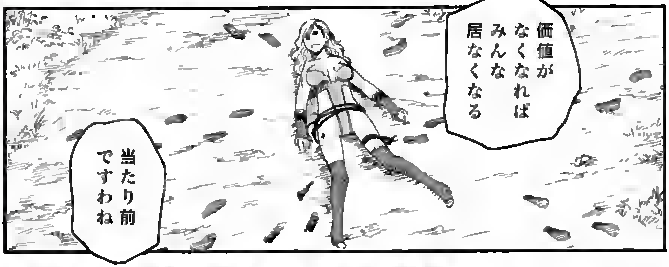
また
ハズレ

ね……
ねぇ
ユーノ
ここ
良い
でしょ
いつも
ここで練習
してるん
だけど
見晴らしも
良いし
静かで穴場
なんだよ！
さっき
……
キシン
えっ
あっ
なに!?
どうして
自分のことでも
ないのに怒った
のですか？

と…
当然
だよ！
だって
友だ――
友だちな
わけない
じゃない
っ
だから
…
……
あ…
えっと
その
結局
私は何も
見えて
いなかった
のですね

チヤホヤされて
白惚れて
人も
獣物も
見下して
自分だけが
強者なのだと
思い上がって
いたんですよ
侮蔑
安堵
嘲笑
怪我をした
私を見る
みんなの目

一瞬水面に
映った自分を
見たのかと
思いましたわ


価値が
なくなれば
みんな
居なくなる
当たり前
ですわね

どうにも
なりません
わ…

こんな腕では
もう前線で
戦えません
もの…
どれだけ
努力した
ところで
もう…

……あのねユーノ
ユーノはいつだってわたしの憧れなんだよ
ケガしたって失敗したってそれは変わらないの
頭良くないから上手く言えないかもだけど――

今やっと色々見えるようになったんじゃないかな！

ふふっ
ワクワク
え？
あれ!?
わたしまた
何か変なこと
言った？
本当

変な子

それで？
変わり者の
キシンは
ここで
ヤリ投げの
練習を
しているん
でしたか？

ヤリはあまり
得意では
ありませんが
何か助言
くらいは
――って
？

何ですか
これは!?
岩肌が
めくれて
地形が
変わってる
これを
一人で
…!?
この子
ヤリが
わるいのかなぁ

神の塔
ああ
うん
気付いた？
村に伝わる
言い伝えが
あるでしょ？
わたし
あの話が
好きで
いつか
あそこまで
行けたら
なぁーって
思ってて
あっ
こんなこと
言うから
変人扱い
されるの
かな？
「神の塔」

今より
遥か昔

世界は
願いを叶える
オタカラに
満ちていました

しかし人々は
堕落と争いを
繰り返し
遂にはカミサマの
怒りを買いました

世界中の
オタカラは
失われ

残った
オタカラも
人々の手に
触れないよう
塔の下で
番人に守らせて
いるのです

……

キシン
塔はこっち
ですよ？

ぐりん

あうっ

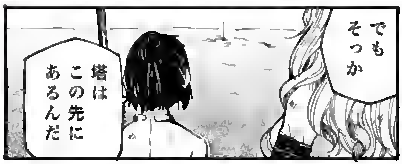
おはは…

キシン
まさか
…

あなたには
塔が見えない
のですか!?

塔が
見えないのは
わたしが
カミサマから
祝福を授から
なかった証拠
なんだって
トジが
治らないのも
そのせいかな
そんな
……

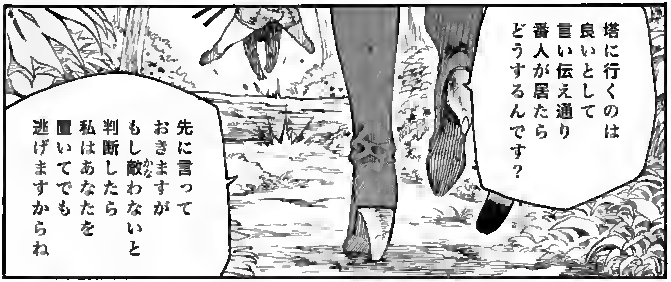
だからせめて
皆の役に立てれば
少しは認めて
もらえるかなって
頑張ってはいるけど
全然
結果に結び
つかなくて


でも
そっか
塔は
この先に
あるんだ

……

そうだ！
塔だよ
塔！
え？
な…
なんですか
急に
あそこには
願いが叶う
「オタカラ」
がある!!
！
オタカラが
あれば
ユーノはまた
狩りが出来る
ようになる！
私も
皆の役に
立てる!!
い…
いえ
ですが
あれは
おとぎ話で
そんなもの
ないのかも
一緒に塔を
目指そうよ!!
でも本当に
あるかも
しれないよ!?
行って
みなくちゃ
わからない
よ!!
うっ

うーん……
どうものせられてしまった感じがしますわ
いいじゃない村に居たってすることないでしょ？
……良いますねキシンのくせに……


塔に行くのは良いとして言い伝え通り番人が居たらどうするんです？
先に言っておきますがもし敵わないと判断したら私はあなたを置いてでも逃げますからね

楽しそうですねキシン
うんっ楽しい！

うんわかったー
それ……わかってない返事ですよね

まるでユーノと二人で狩りに行くみたい
それってなんだか友だ——

えっとそのぉ……
わたしたちの関係って何かな？
？

……なんです？

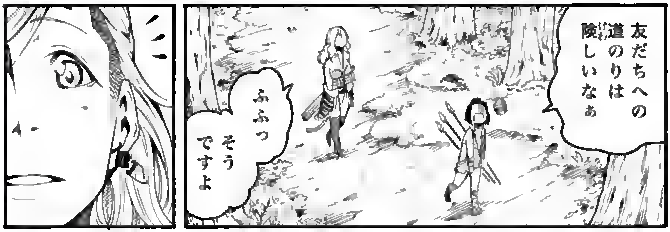
あ…あのさユーノ

……
同じ村出身？
ふたり

よかったらわたしと友だちになって!!
ぽ

だ…
だめ？
チラッ
いや…
だめって
言いますか
…
そもそも
友だちって
許可を得て
成るもの
なんですか？
え？
……
友だち
いない
わかん
ないや
友だち
いない
それじゃあ
ユーノの考える
友だちの基準
ってなぁに？
どう
すれば
友だち？
うーん
…
そう
ですね

その人のために
命を懸けられたら
真に友だちと
呼べるんじゃ
ありませんか？
ええ～～
それ
難しいよぉ


友だちへの
道のりは
険しいなぁ
ふふっ
そう
ですよ

へ？
キシン
足
っ
足元ー

あうっ
ドサッ

来るぞ
来るぞ

ドドド

わっ
わたし
だって
えいっ
!?

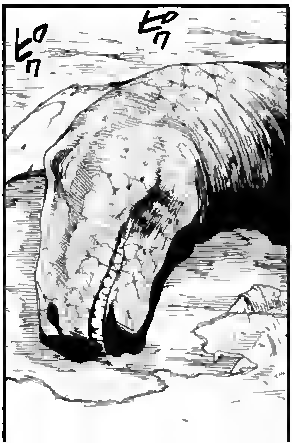
どこ狙っているんですか！
ごっごめーん
いいからあなたはお逃げなさい!!
ドゴォ
ボゴ
わーっ
キシン！
前っ前！
へ？

おバカ――

言いましたわよ!!

ヤリは
得意じゃないと

ガ
ガ


ピク
ピク

やったー
も…
もう無理
ですわ…

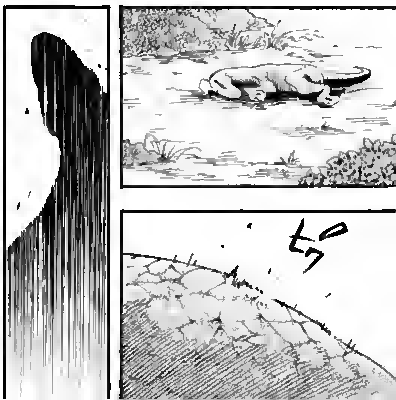
それにしても
なんだろうね
この生き物
初めて
見る
ちょっと
お止し
なさい
え？
だって
食べない
の？
食べま
せんっ
こんなの
食べたら
お腹壊し
ますよ！
ちょっと
くらい
試しにさ
やめてっ
……
ねえ
ユーノ！
わたしたち
もう友だち
なった!?
ええ!?
なん
ですか
急に

だって今命がけで助けてくれたでしょ!?
ええ!?
ま…まあとりあえず
うう…

お友だち候補
ってところですかね
ほんと!?

やったー
候補ですよ候補！
わかってるー
だからそれわかってないやつですよね

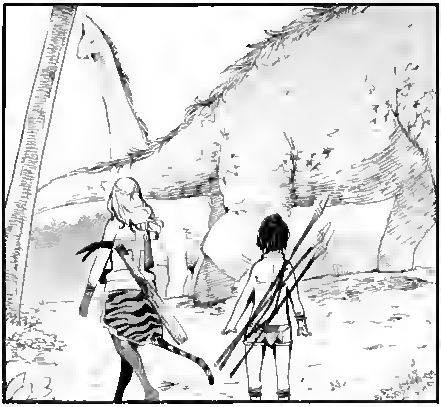
ガレ

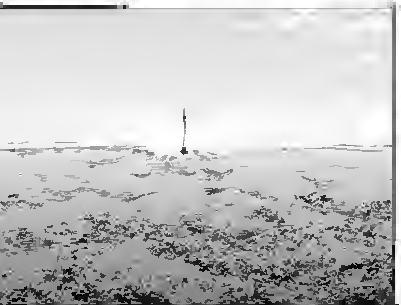


ふぁぁぁぁ
天然の湯が湧いている所があって助かりましたわー
キシーン？
あなたも入っちゃいなさーい
……
ハラン
ハラン

ハァハァ
ハァハァ
もうちょっとー
今日の分終わったら入るー
毎日これだけ練習してるのに一向に成果が出ないなんて
……
ハァ
ハァ
ン
オタカラがあれば何かが変わるのかしら

希望のオタガラ編(後)

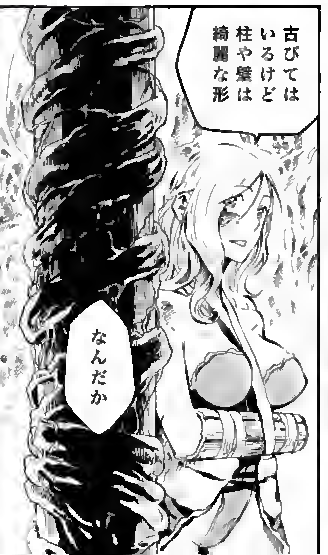




ここが
神の庭
ここを抜ければ塔の下に出られるはずですわ

見て
見て！
この岩壁
垂直で
ツルッツル！
カミサマが
作ったの
かなぁ？

これなら
きっと
オタカラも
見つかる
よね！
そう…
ですね

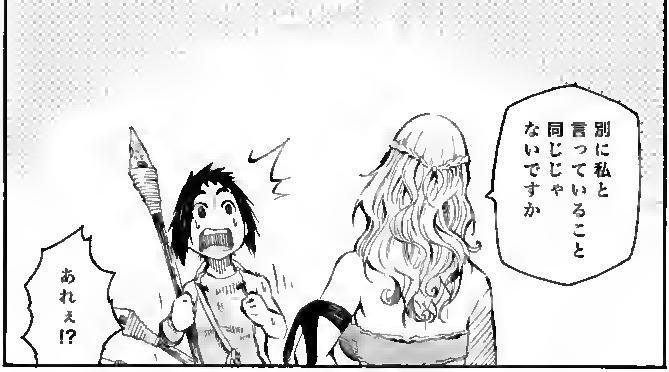

古びては
いるけど
柱や壁は
綺麗な形
なんだか

それに
しても
本当…
何なの
かしら
ここ

何かの文明が
滅びた後
みたいですわ
人の
文明か
あるいは
神の文明が

……
ねぇ
ねぇ
ユーノ
はさ
本当に
オタカラ
見つけたら
どーする？
？

そうですね……
ヤリでも習おうかしら
ええ～～
ええー って何ですか
だってオタカラがあればその怪我だって治るかもしれないんだよ？
それならキシンはどうするんですか？
わたし？
わたしはねぇ――
狩りに出て皆の役に立ちたい！
それでわたしのことも認めてもらうんだ!!

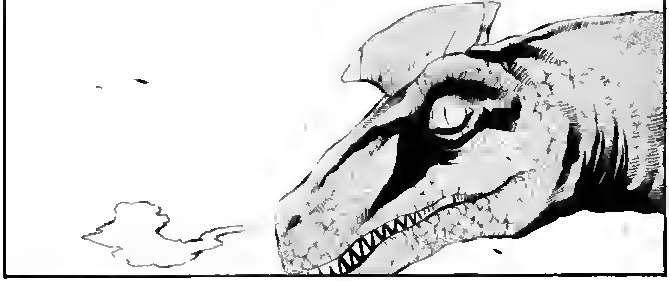

別に私と言っていることと同じじゃないですか
あれぇ!?

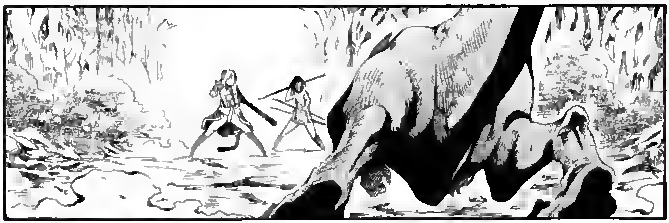
おかしーなぁ〜
うぅ〜ん

オタカラなんてなくたってあなたはあなたですよ
ん？何か言った？
いいえ何も

さあ
番人に
見つかる
前に
オタカラを
探しましょう
!?

あいつ
この前
の……
まさか
ずっと
私達を
追って!?
や……っ
やっぱり
番人!?
ガキン
しつこい
ですわね！





ドシン

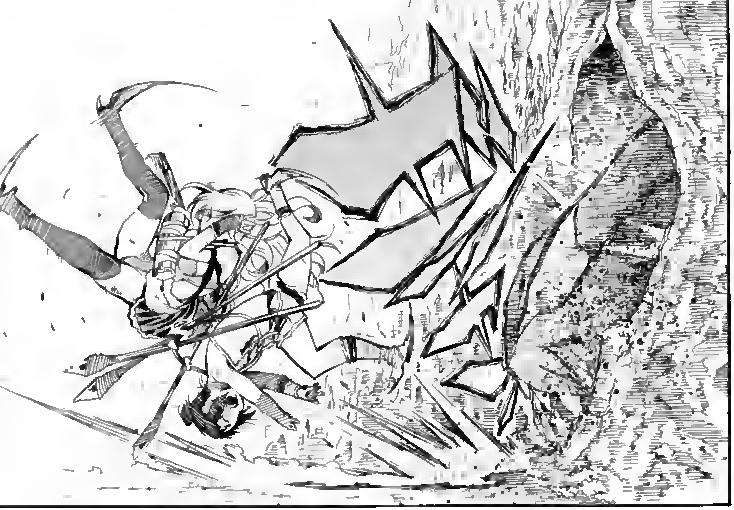
ここここ
こいつが
本物の
番人!?
しっ
動くん
じゃあり
ません!

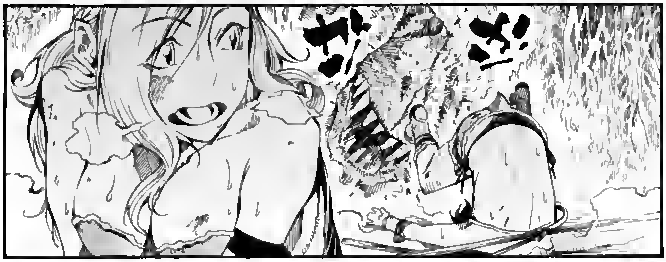
えきしっ

……
……

わ～～～
ドス
ドス
また～～～
ドス

ドドド





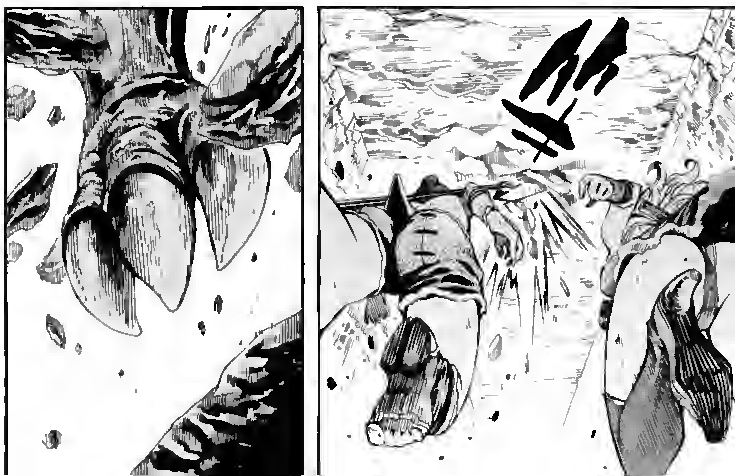
た……
助かった……？
ねえ
もしかして
ここが……

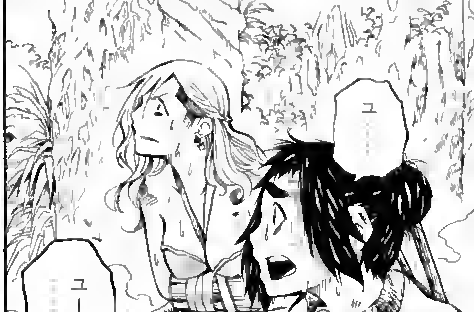
オタカラの眠っている場所？
そうかも！
なんか祭壇っぽいし！
早くオタカラ探そうよ！

そうですね
番人もいつ入ってくるか…
ドラ
うそ……
入り口が……
急ぎましょう！
うんっ
!?

まさか
上に!?

走って
キシン！
天井(てんじょう)が
もろく
なってる！



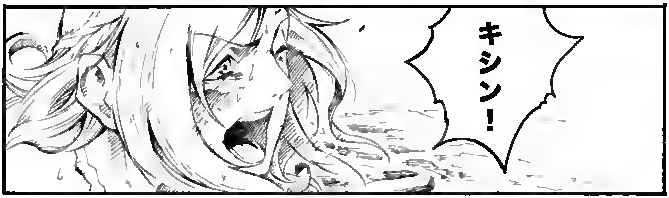


これだけ的がデカければ……っ
ドドド

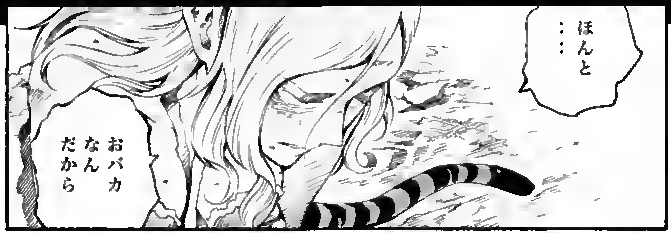
カラ
カラン
さ…… 刺さんない!?
おバカ！
狙うにしても
もっと柔らかい
所を――
キシン!!

うう
はあああっ
固(かた)っ

ユーノー
ドサッ…
わ……
わたしの……
ダメ……
お逃げなさい……
わたしの友だちに
手を出すなぁ

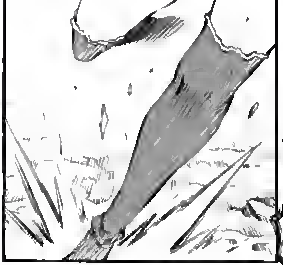

キシン！

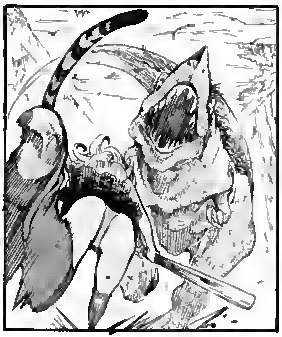
うっ
く……


ほんと……
おバカなんだから

いつだって真っ直ぐで
昔から何一つ変わってない
あの子だけが
私がどんなになっても変わらなかった……っ

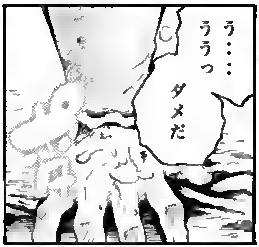
あなたには悪いですが
キシンだけは食べさせませんよ…
キシンは私の――
友だちですからね！





キシーン！
あなただけでもお逃げなさい!!

ユーノ
……


う…
ううっ
ダメだ

どれだけ
頑張っても
どれだけ
本気でも
意味なんか
なかったん
だ……

やっぱり
わたし
役立たず
だよ……

いつも
失敗
ばっかりで
今回
だって
……

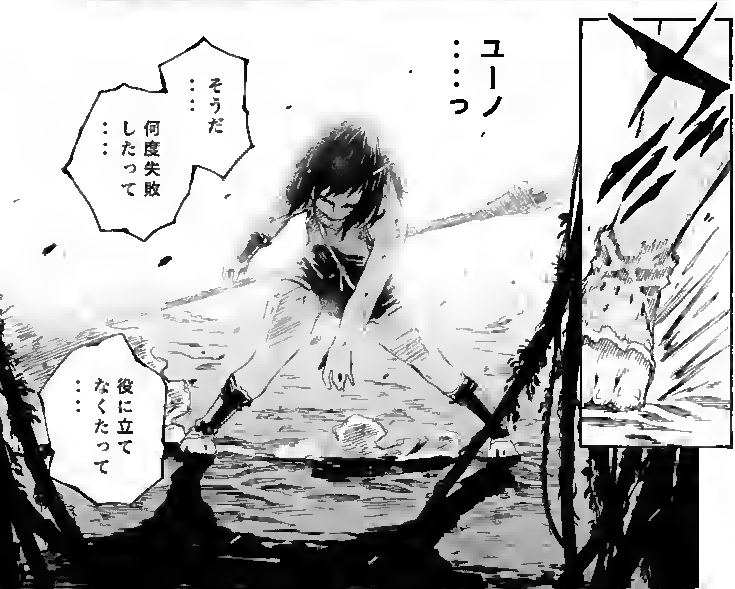
きゃあああっ

キシン
……

ムリ
だよ
敵いっこ
ない……

逃げて……

私はあなたを
置いてでも
逃げますからね
その人のために
命を捨てられたら
真に友だちと
呼べるんじゃ
ありませんか？
お友だち
候補って
ところ
でナかね

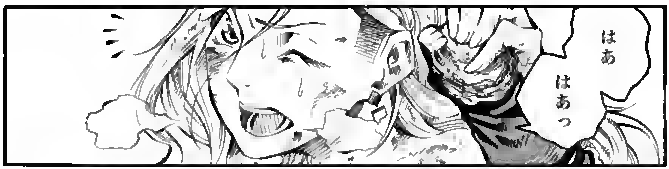

ユーノ
……っ
そうだ
……
何度失敗
したって
……
役に立て
なくたって
……

友だちを
見捨てる
人間に
だけは
わあっ
ならない

あたた……
ゴゴゴゴゴゴ
え？
……
何これ……像？
ひょっとしてこれが――

オタカラ？

こっち
来ないでくださる!?


はあ
はあっ

キシン
……
よかった
無事だった
んですね

ダダダ

あなたは
そのまま
お逃げ
なさい
ぽと

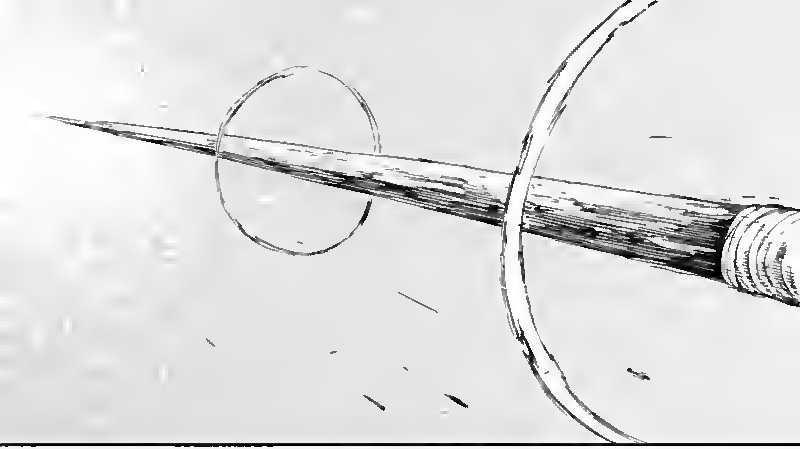
まあ
私にしては
いささか
情けない
最期ですが
と：
友のために
殉ずる
というのも
悪くはないん
じゃない
ですかね

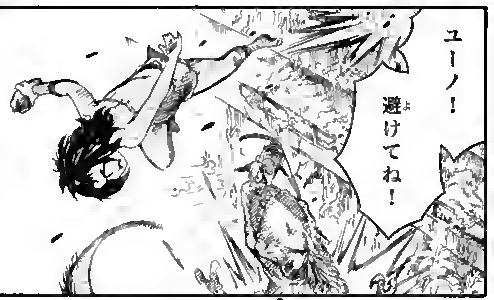
わたしも
ユーノ
みたいに
なれるかな
ええ
努力それば
あなたも
私のように
なれますわ

ああ
もしかして
キシン
あんな
子供の
たわ言を
真に受けて
たった
あれだけの
ことで
絶えず
努力を
ほんと…

おバカね

そこだ――!!
!?




ユーノ！
避けてね！

ちょあ

キシン!?

ひあっ

ドドド

すごい

……

ふぁーっ
もうダメかと思いましたわ
えへへ危なかったねー
……
ところで何ですか？それ
これ？
たぶんオタカラ！
わっ
これ付けるとねすっごく見えるようになるの！
付けてみて
むしろ全然見えませんわ!?
あれえ？

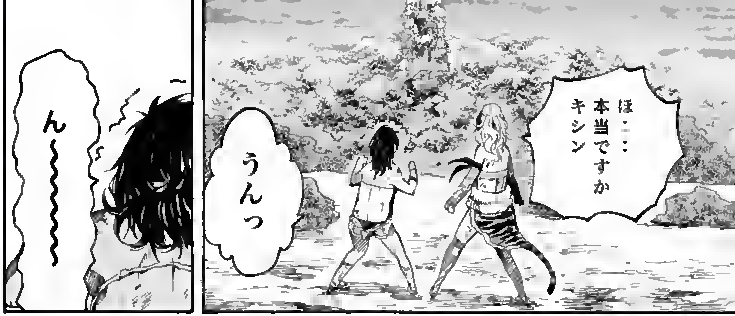
まぁキシンの願いを叶えるオタカラってことじゃないかしら？
世界を変える
あなたを変え
そうなのかなぁ

それじゃあユーノのオタカラは
!!

番人が目を覚ます前に逃げましょう！
はた
はた
わーわーっ

ショッピングセンター
あなたの願いを叶える
たくさんの品揃え

ふぃ〜
ふぃ〜
ふぅ〜〜
ここまで来れば安全でしょう
!!
ユーノ！ユーノ！
何ですか少し休ませてください
私にも見える！
え？
私にも塔が見えるよ！


ほ…
本当ですか
キシン
うんっ
ん〜〜〜〜

やった——
ちょっ
ちょっと
キシン！

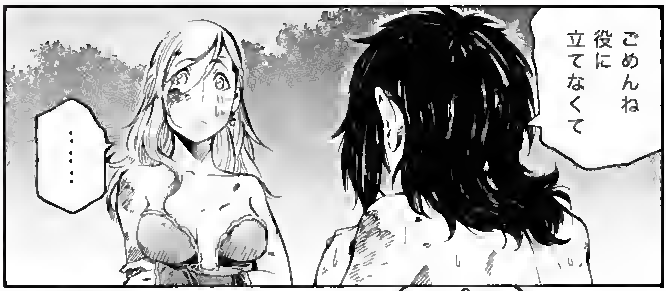
やっぱり
オタカラ
だったんだ！
ありがとう
ユーノ！
ええ!?
ユーノがいて
くれなかったら
塔にも行け
なかったし
番人の注意を
ひきつけて
いてくれたから
こうして帰って
これたんだよ！

……
いいえ
わたしは
何もして
ませんわ
？

キシン
全部
あなたの
力ですよ

――なんて
ちょっと
謙虚すぎ
ましたかね
私も少し
くらいは
役に立った
かしら
少しじゃ
ないよ！
すっごく
すっごく
だよ！
ふふ…
どうも

ああっ
？
今度は何ですか
いや…あんなに苦労したのに
ユーノのオタカラは見つからなかったな……って


ごめんね役に立てなくて
……

い……いいんですよ別にオタカラなんて
それに……
チラ
ヤリなら左腕だけでもなんとかなるでしょうし
私ももっと努力してみますわ

本当に
欲しかった
ものは
もう手に入り
ましたから
？
ほ・・・ほら
もう身体が
限界です
早く村に
帰って
休み
ましょう
あっ
ユーノ？
ねぇ
何を手に
入れた
のー？
ええい
お黙り
なさい
ねぇねぇ
ユーノー

教えてよー
ああもうっ
少しくらい
察しなさい！

Presented by Iruka Shiomiya

原始少女と神の塔

Genshi Otome to Kami no Tou

こらーっ
セイ!!
ソウ!!

また大事な種火を消しおって
なんのための見張り番だ!

ピュー
ぜー
ぜー

またあの双子?
ホント邪魔はかりで役に立たないわねぇ

ちょっと昼寝してただけじゃんカッカするなよバカ村長ー
バカ村長ー

いや～
随分遠くまで
来ちゃったね
ソウー
はぁ
はぁ
……
って
あれ？
ソウ～？

……
何ここ？
ガサ
ゴソ
セイ！
ここって
あれだよ！

オタカラが
手に入れば
一生楽して
暮らせるよ
セイ！
ソウ
それ
ばっか

ずっと昔に誰かが
オタカラを持って
帰ってきたけど
誰も使い方が
わからなかった
からって
村長が代々
隠してきた
秘密の小屋だよ！

ん!?
……
オタカラ
あった!?

約束のオタカラ編

んー…
でもどーすれば
願いを叶えて
くれるかなぁ
試しに
祈ってみる？

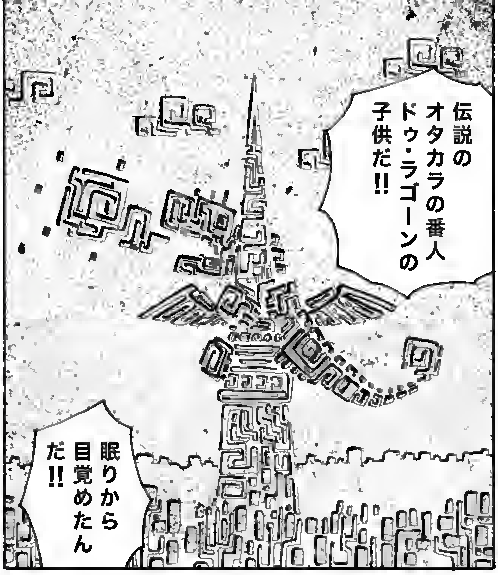
シーン

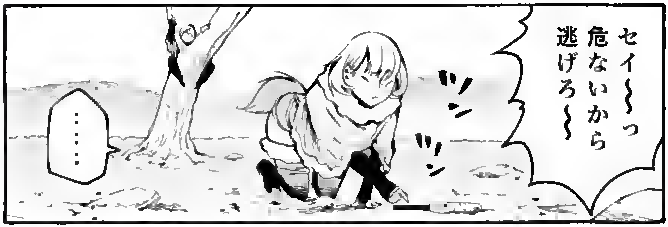
オタカラさま～
なにとぞ～
…
…

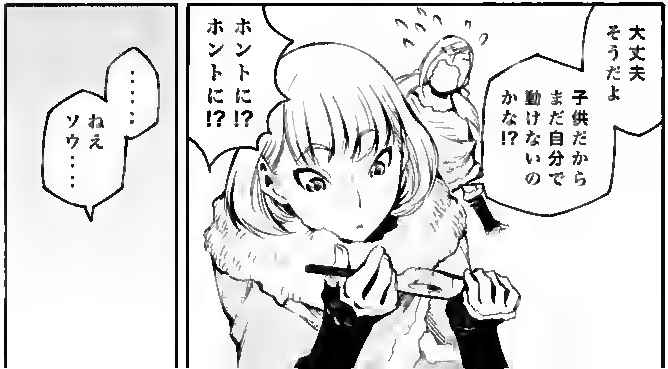
なんだよ
役に立た
ねえなー

火い吹いた！
火い吹いた!!

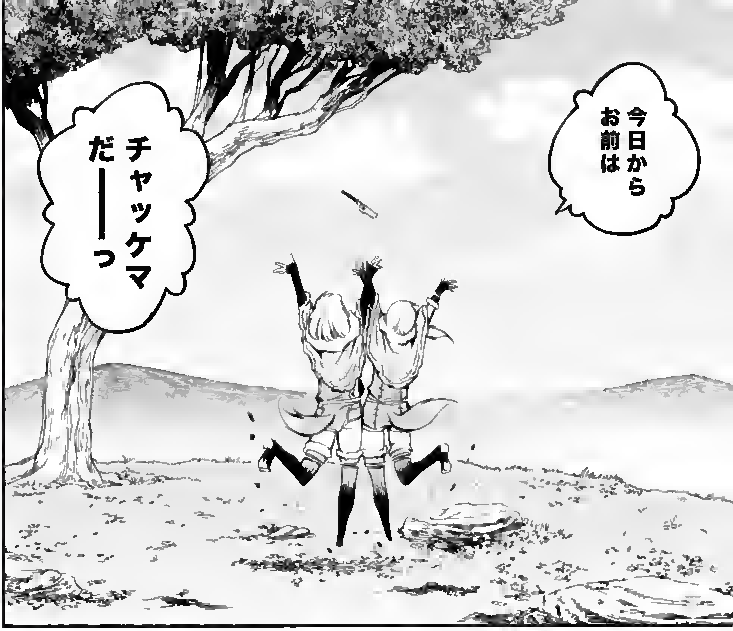
ソウ～
ヤバイって
絶対ヤバイ
こいつ――


伝説の
オタカラの番人
ドゥ・ラゴーンの
子供だ!!
眠りから
目覚めたん
だ!!

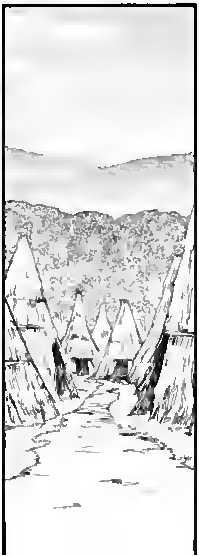

セイ～っ
危ないから
逃げろ～
ツン
ツン
……


大丈夫
そうだよ
子供だから
まだ自分で
動けないの
かな!?
ホントに!?
ホントに!?
……
ねえ
ソウ……

この子
ウチらで
飼おうか
へっ!?
ここのツボを
押さなければ
火は吹かないよ
ナデポ
ナデポ
な…
なるほど
おどかし
やがって
名前は
何が
いいかな
ラ…ライ
ライ…ッター
…ちょっと
違うな
チャ…チャー
チャッカー…
!
チャッケマ!!


今日からお前は
チャッケマだ――っ

いいかーチャッケマ
お前は子分なんだからウチらに尽くすんだぞー

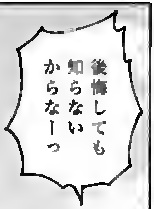


まずは種火からだ！

おーい
火い起こすの
手伝うぞー
ぞー

驚くなよー
ウチらが
一瞬で火を
あー
はいはい
わかったから
あっち
行ってろ

おっおー？
いいのかな
そんなこと
言っちゃって
はあ……

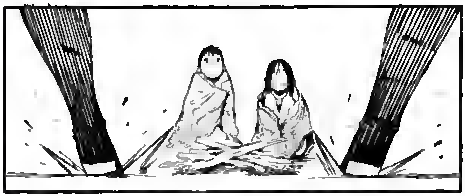

後悔しても
知らない
からなーっ

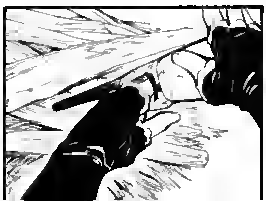
こっちは
お前らの
尻ぬぐい
してんだ
邪魔
するな
なーっ

なー
なー

ったく
なにも
あんな言い方
しなくても

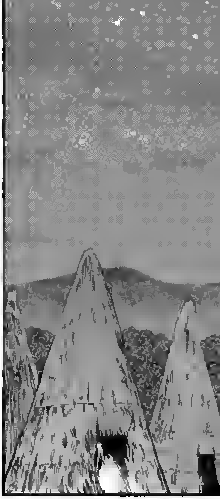
ううっ
寒いよ
寒いよ～
種火がなくて
火がつけられ
ないんだ
我慢しろ

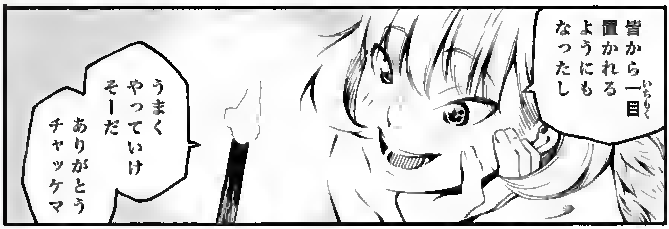




セイ！
ソウ！
ゲッ
村長！
近頃 子供たちと
何かしている
ようだがあまり
調子に乗るなよ
安易に手に
入れものは
安易に
失われる
肝に
銘じておけ

村長は
あんなこと
言ってた
けどさ
ウチらは
本当にお前に
感謝して
いるんだ




皆から一目置かれるようにもなったし
うまくやっていけそーだ
ありがとうチャッケマ

ボボボ
お
さすがに疲れたね

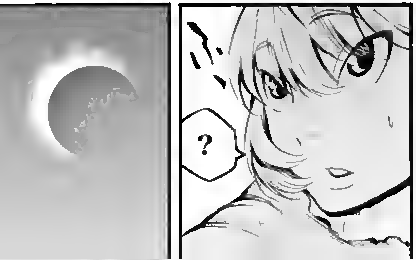
おやすみ
チャッケマ
カチッ

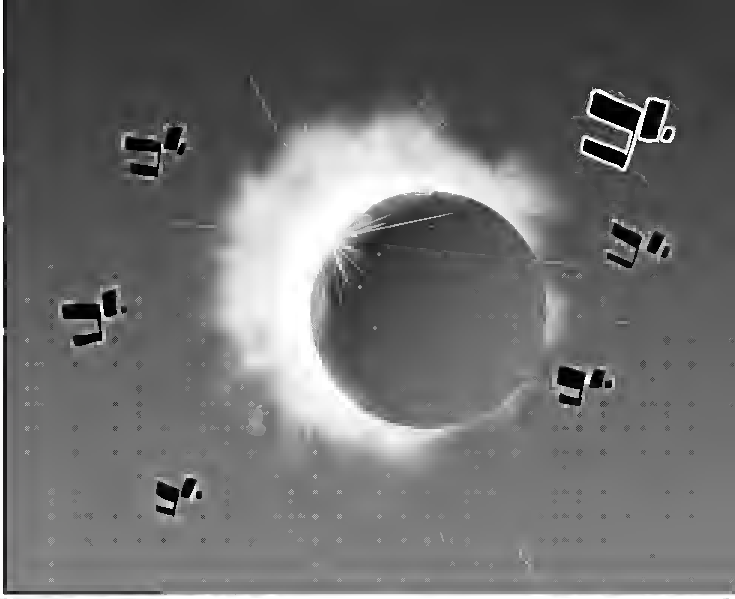
ゆらら
そっか
お前も
嬉しいか

なんか
…嫌な空気
うん
…

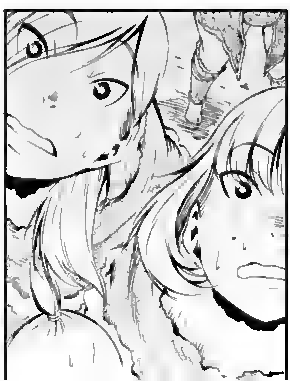
あっ
こらこら
はやくー

セイーソウー
今日も探検
行くんだろー
チャッケマー
いくぞー

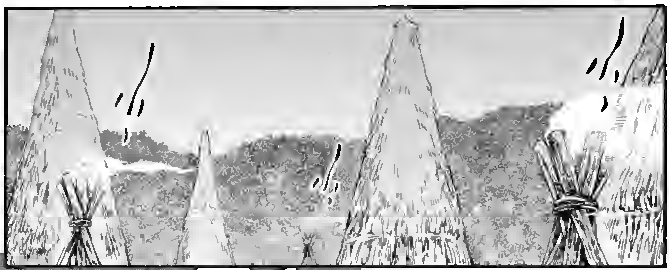

?

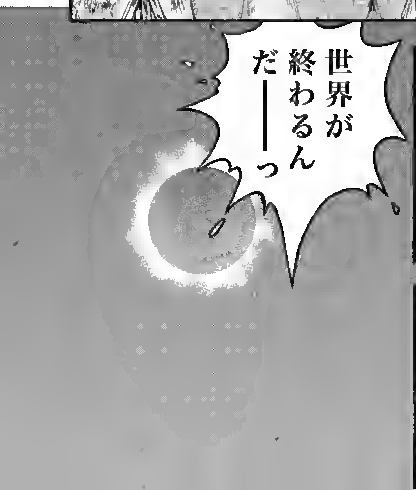

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

た……
太陽が……



消える




世界が
終わるん
だ――っ

村中の
がっ
せっかく
つけた種火も
消えてる！

お……
終わり
だ……

ブンブン
ぶぉぉん
ブォォォォン
な…なに言ってんだ
そうだ！
チャッケマ！
大丈夫だから落ち着けって――
は、
皆！ウチらにはチャッケマがいるじゃないか！
頼むぞチャッケマ
今こそ出番だ！

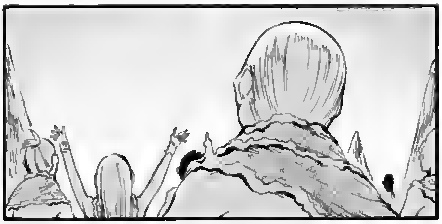
カチッ
ねぇ
セイ
ソウ……
チャッケマ
死んじゃった
の？
……
え？
カチッ
カチッ
お……
おい
チャッケマ？
起きろよ
出番だぞ
カチ
……
カチ

そ…そんなわけあるか！
チャッケマはウチらの子分だぞ……？
カチ
カチ
カチ
カチ
カチ
ほら…いつもみたいに火を吹けよ

火を
もうやめてソウ！
ウチらがチャッケマに無理させすぎたんだ
まだ子供だったのに…
バチが当たったんだ…
ウチらが…

ウチらが
チャッケマを
殺したんだ!!
ウソ……
だろ……？
ゴメン…
ゴメンよ
チャッケマ
ウチらが
お前に
頼りすぎた
せいで…
もうサボったり
しないし
暴言も吐かない
これからは
もっとマジメに
生きるから……
もう一度だけ
力を貸して
くれよ～～～っ
ドチュ!!

見て！
太陽が!!
チャッケマの
光で元気を
取り戻してく!!



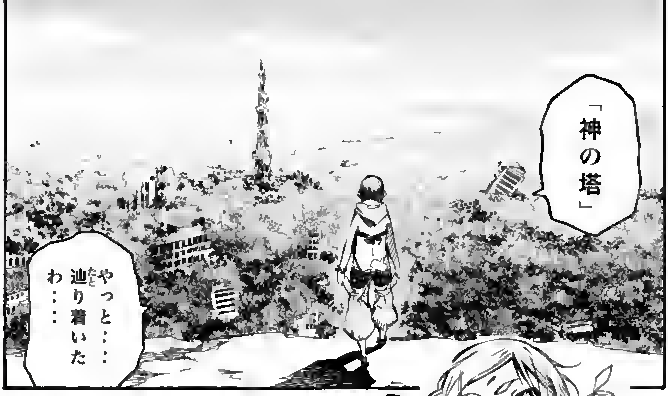
なぁ
チャッケマ
お前はちゃんと
約束を守って
くれたよな
今度は
ウチらが
約束を
守る番だ
自分たちの
力でちゃんと
生きるからさ

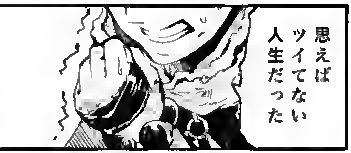
見ててね！
チャッケマ！

Presented by Iruka Shiomiya

原始少女と神の塔

Genshi Otome to Kami no Tou


「神の塔」
やっと…辿り着いたわ…


思えばツイてない人生だった

森を歩けば狩猟民にかかり
おっ
おっ
おっ
草原を歩けば変な集団にからまれ
沼を歩けば底なし

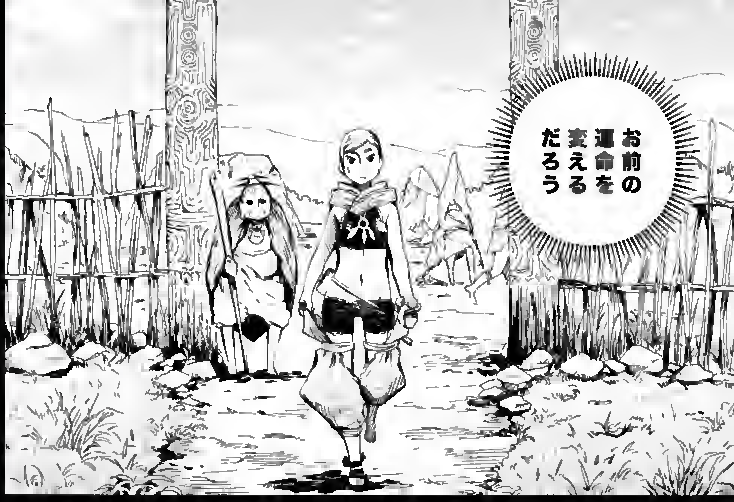
言い伝えの通りなら
あの塔の下にはどんな願いも叶えるオタカラが眠っている…
幸運のオタカラ編（前）

オタカラを手に入れて不幸体質とはオサラバよフッコ…
フッコ
いざ行かん神のと
ドゴゴゴ

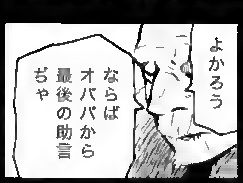
幸運のオカカラ編（前）

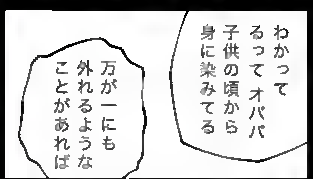
お願いよ
オババ！
もう
不運は
嫌なの!!
オババは
この界隈でも
随一の呪い師
なんだよね!?
オババの力で
…なんとか
できるよね!?
ふむ
…
ゴク…
残念
ぢゃが
フッコ

わしの力では
どうにも
ならん
「星」の力が
強すぎる
そんな
これは
不運の星の下に
生まれた
お前の運命
せめても
平穏を
望むのなら
村から
出るべき
ではない
い…
嫌よ！
私だって
皆みたいに
一緒に狩りに
行ったり
旅をしたり
したい！
一生
ひきこもって
生きる
なんて——
あるいは——
ロビロビ
？
神の塔を
目指せ
フッコ
それが
——


お前の運命を変えるだろう

塔にはオタカラを守る番人がいるぞ
それでも行くかフッコ


よかろう
ならばオパパから最後の助言ぢゃ


わかってるって オパパ子供の頃から身に染みてる
万が一にも外れるようなことがあればぢゃ

道中 決してその呪いを込めた腕輪を外すでないぞ
不完全とはいえお前の不運を抑えてくれる
一生分の不運が降りかかることだろう
ガーン
そんなに!?

行くわー
あぁフッコや…
止めないでオババ決心がニブるっ
そこは…
防犯用の落とし穴ぢゃぞ
ヤメヤメ

ね――ちょっと生きてる？
もっしも～し
うぅ～ん

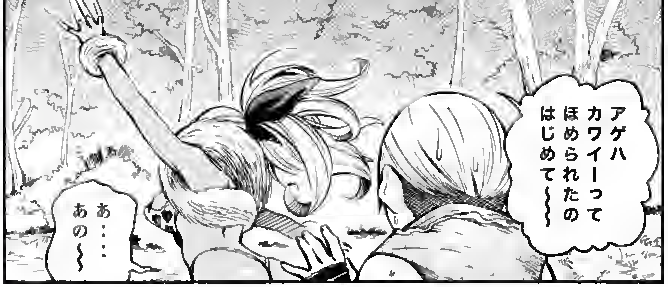
ダイ
ジョーブ？

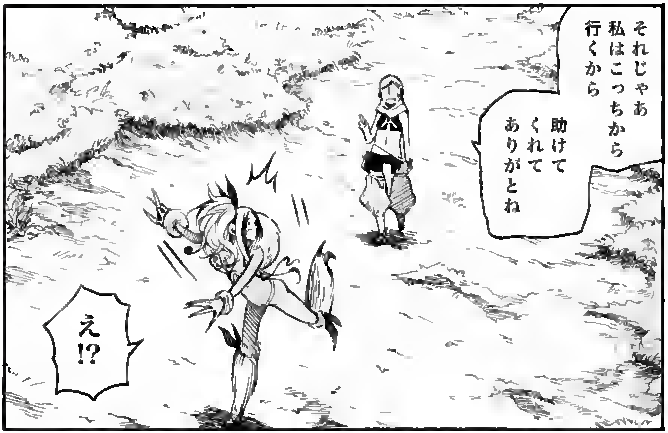
バケモノ
〜〜〜!!
ヒドイ!!
命の恩人に
対して
そんなこと
ゆ〜〜〜〜?
え…
あれ?
そうだ
私
崖から

まいーけどねー
アゲハのカワイさにマドワされる気持ちもわかるし！
カワ…？
あ…私フッコラキーの村から来たの。
マジで!?通いね！
アゲハはねルギの村から！
もしかしてフッコもオタカラを探しに？
ええ…じゃあやっぱりあなたも塔を――
ぴゅっ
動いちゃダメ!!
!?

な……
何!?
……
動くと水面
ゆれてカワイく
盛れないから
まだそのまま!
え……
水場は
キチョー
だよー
アゲハの村
川遠いから
大変でさー
いっつも
苦労してん
だよねー
そ……
そう
だからアゲハ
なんとしても
オタカラを
……
そろそろ
あっ
まだ
ダメ!
……
もう
いい?
もー
ちょい!
もいいでしょ
もうすこし!
もーやしてまぜ!
もまだ
ダヨ〜〜〜
……

アゲハ
その髪型
チョー
カワイイ
ス…
スタイルも
サイコーね
!!
バッチ
グーよ!
マジで!?
アゲハ
イケてる!?
マジよ
大マジ
はああ
やっと
解放
された


アゲハ
カワイーって
ほめられたの
はじめて～～～
あ…
あの～


それじゃあ
私はこっちから
行くから
助けて
くれて
ありがとね
え!?

あっ！
もしかして
アゲハが
カワイ
すぎて!?
しっとしんでるだ
…そう
ではなく

私といると
…不幸に
なるから
？
どゆ
こと？

アゲハ一人で
さびしかったし
一緒に行こーよ
フッコも
塔を目指し
てんでしょ？
えっ
なんだけど
とまぁ
…そう

昼間でも
見える
あの星

あれの影響で
生まれた時から
私の周りでは
不運が
続いてるの

一応
このお守りで
多少はマシに
なっているん
だけど…

！

なにそれ
カワイー！
ちょっと
貸し――

ダメっ

……

あ

ゴメ
…

ぶんぶん

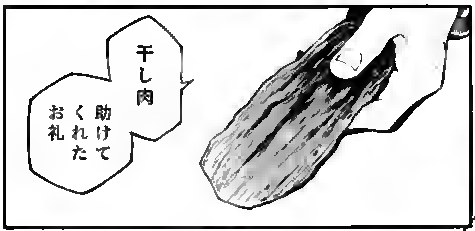
あぁっ
違うの
そーじゃ
なくて…

子供の頃

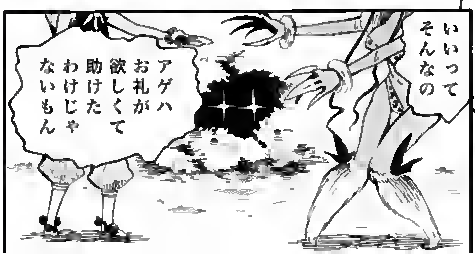
一度だけ
外したことが
あって…

きっと私は
カミサマから
祝福を授から
なかったんだ
フッコ
…

一緒にいた
子たちは
食肉植物に
襲われ
二日三晩
大雨と落雷に
見舞われたわ
村には
大量の
毒ヘビが
押しよせ


干し肉
助けて
くれた
お礼

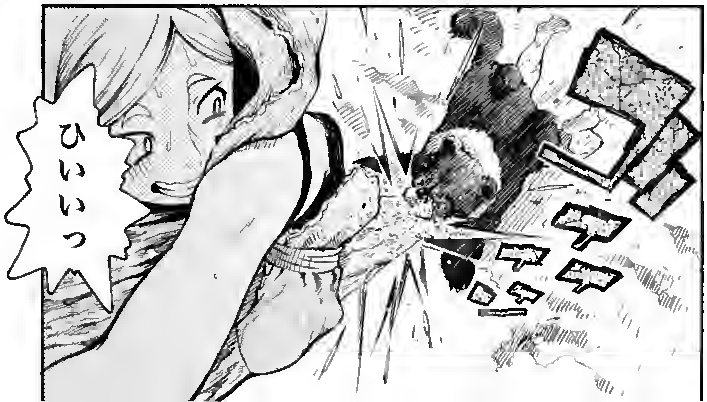
なんか
暗い話に
なっちゃ
った
あはは
これ…
大した物
じゃないん
だけどさ


いいって
そんなの
アゲハ
お礼が
欲しくて
助けた
わけじゃ
ないもん

さすがに腐ってはないと思うけど
もーっそーじゃなくてさ
アゲハが言いたいのは――
!?
ニク、っ
ぐふっ

フッコ――!!
ゴゴ
ゴロ
ズズ
なっ
なに～!?
ひっ
ぶにゃ
ぶにゃ

わ〜〜〜っ
ドドド
ニク〜〜〜


ひいいっ
ゴゴゴゴゴ

ちょ……
ちょ……
ちょ……
メキョ
メキョ
メキョ

うわあああああっ

ズズズ
オオオオン

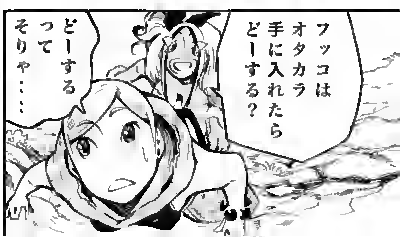
はぁあ……
ツイてない……
あたた
へ～ニクちゃんてゆーんだ どっから来たのー？
ニクー
……
ニク～
そ～なんだ～アゲハはねぇ～
あれは会話が成立しているのか……？

ねー
フッコー
ニクちゃんも
オタカラ
探しに来たん
じゃない？
皆で
行こーよ
ええ!?
私の話
聞いてた？
また不幸に
巻き込まれ
るわよ
バカだな
フッコー
アゲハ
そんなの
気にしない
よ！
それに
一人より
皆一緒の方が
きっと
楽しーよ！
ニクーっ
えー
フッコと
狩り!?
あの子と
いると
いっつも
酷いめに
遭うしな～
わかる～

は……
はは……
どーなっても
知らない
からね……
よ～し
それじゃあ
皆で行き
ましょーか
あっ
ちょま
？
盛り
直し♪
ニクー
コラ～～っ

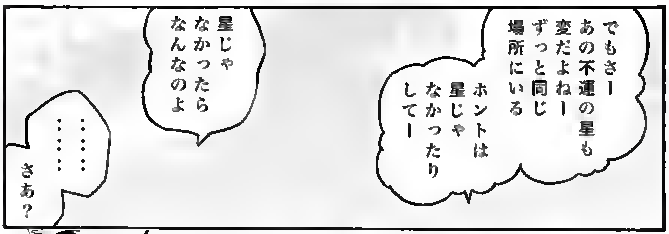
はいっ
キビキビ
歩く
へ〜い

ねー
フッコー
んー？


フッコは
オタカラ
手に入れたら
どーする？
どーする
って
そりゃ・・・・

なんでも願いが
叶うって話が
本当なら
運を良くして
もらって・・・
そしたら
・・・・・
したら？

友だちと
狩りに
行ったり
一緒に
旅したり
…とか
ふーん


でもさー
あの不運の星も
変だよねー
ずっと同じ
場所にいる
ホントは
星じゃ
なかったり
してー
星じゃ
なかったら
なんなのよ
……
……
さあ？

もっと
カワイくして
もらうの！

適当
ねぇ

そーゆー
あんたは
どーなのよ
アゲハ？
アゲハはねー

なんでか
皆アゲハに
冷たくてさー
盛りが
足りてないん
じゃないかって
思うんだよねー
あー
…
そう
…ね
ニク〜
ニク？
でも大丈夫
オタカラが
手に入ったら
貸したげる
からさ
フッコも
心配
しなくて
いーよ
そこは
心配して
ないわよ！
自分で
なんとか
するわ！
ウケるー
何が!?
ニク〜
…
まぁ
いいわ
ニクは？
アンタは
どうす——

ガブ
る……の？
ニク……ウマウマ
ぬんきゅー

にゃあああああああ
わ〜〜〜〜っ
2人とも落ち着いて
!?
ドドドドド
でっ
ドゴゴゴ
ちょっとこっち来ないで

よ……
不幸だあああああ

もぐ
いや
ギシ

はあああ
ホント
ツイて
ない……
「神の庭」
には着いた
じゃーん
そーゆーの
いいから

フッコと
いるとマジ
飽きないねっ
次は空から
岩でも
降らせて
よー
人の不運で
楽しまないで
くれます!?

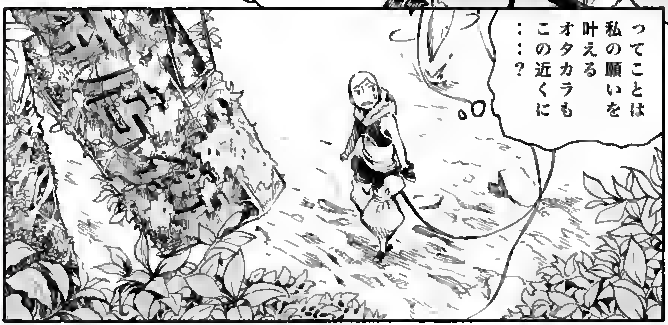
あでも
ニクちゃんは
もーアゲハの
お尻食べちゃ
ダメだかんね
ニク〜
……

もうお前の
不運には
コリゴリ
なんだよ……
さっ
早いとこ
オタカラを
見つけましょ！
お〜〜
ニク〜〜

ねー
フッコー
んー？
ちょっと
水場に
後(あと)に
なさい！
痛(いた)っ
も～
今度は
何～～～？

……
……
これは
……
ニク!?
ヤバイ!!
アゲハたち
映(うつ)ってる!?
肉じゃ
ないわよ
オタカラ
じゃ〜ん!
え!?
ホント
に!?

絶対
オタカラ
だって！
これで
いつでも
どこでも
好きなだけ
盛れる!!
ヒョー
まぁ……
いいけど


ってことは
私の願いを
叶える
オタカラも
この近くに
……？

ニク！
ニク！
ニク
ニクッ!!
あんたは
なに
食べてん
のよ？

……
やめなさいよ
それ絶対
食べ物じゃ
ないわよ
ズ
ズム
ニク～～～
缶詰
ブラン

アゲハ
ちょー
イケてる

ガキッ
あっ
フッコ

もう誰にも
運が悪い
なんて
言わせない
わ…

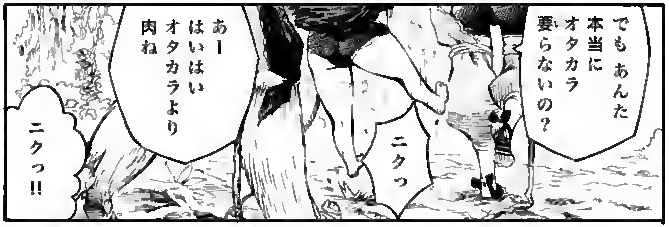
どー？
オタカラ
あった？

見なさい！
これが
私の——

幸運を呼ぶ
オタカラよ!!
……
……
……
？
マジで？
絶対そう
だって！
奥の方に
大事に
しまって
あったもん！
でもそれ
ケモノ
くさいよ？
失礼なっ

これでようやく私も人並みの人生を
!!?
番人!?
い…いったいどこから
ニク～～～
腹の音かい!!

もう
驚かさない
でよねー
ニク〜〜
オタカラも
手に入ったし
狩りに
行こっかー
グルルル


でも あんた
本当に
オタカラ
要らないの？
ニクっ
あー
はいはい
オタカラより
肉ね
ニクっ!!

もー
ニクちゃん
おなか
すきすー
ぎ……
フッコ……
フッコ……
なに
よぉ
うしうし
うしうし
うし……

ぐるるるるるる
？
ぎゃあああああああ

ねぇフッコ
もしかしてあの子
そのオタカラを
自分の子供か
何かだと思って
るんじゃないの!?
返そうよ!!

い…
いやよ!

あいつが番人なら
これこそが
オタカラっていう
証拠じゃない!

しゅる

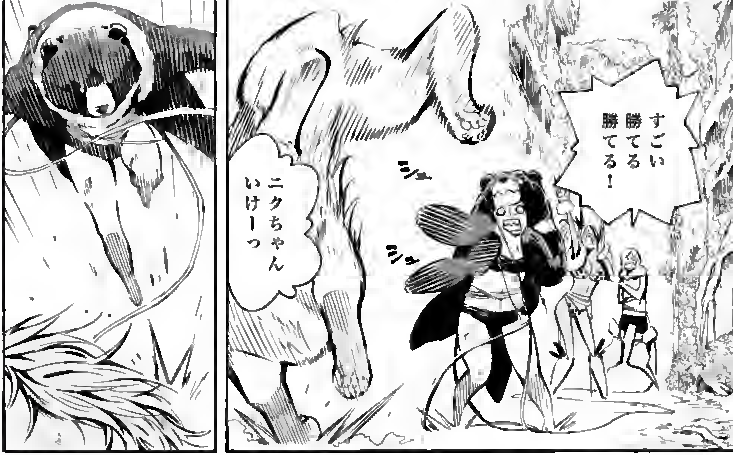
しゅる

しゅる

私の
不幸体質が
消えるまで
絶対に
手放さない
からね!!

ビッ
ちょっちょっとニク？
あんたまさか
ニク〜〜
やっぱりいい

幸運のオクカラ編（後）


すごい
勝てる
勝てる！
ニクちゃん
いけーっ
シュ
シュ

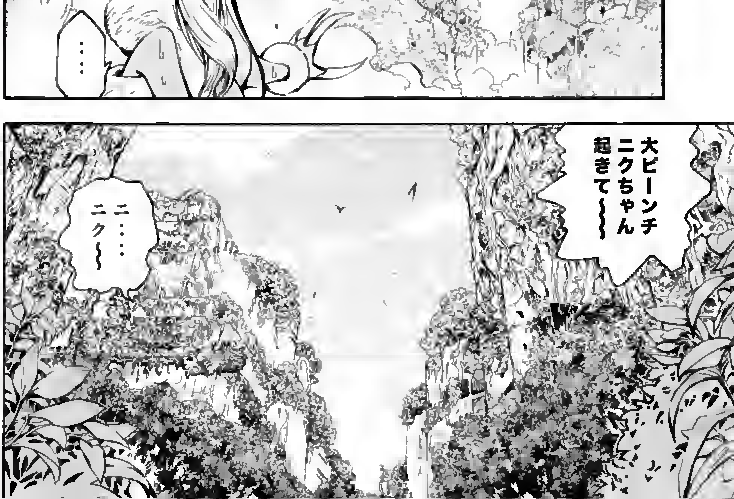
ニクーーーーっ

ニク？

ミク〜〜っ
ぎゃっ
わああ
早くほどいて
いまやってるー
とけた！
んん!?
ん？

そっちじゃなあーい!!
フッコ〜〜

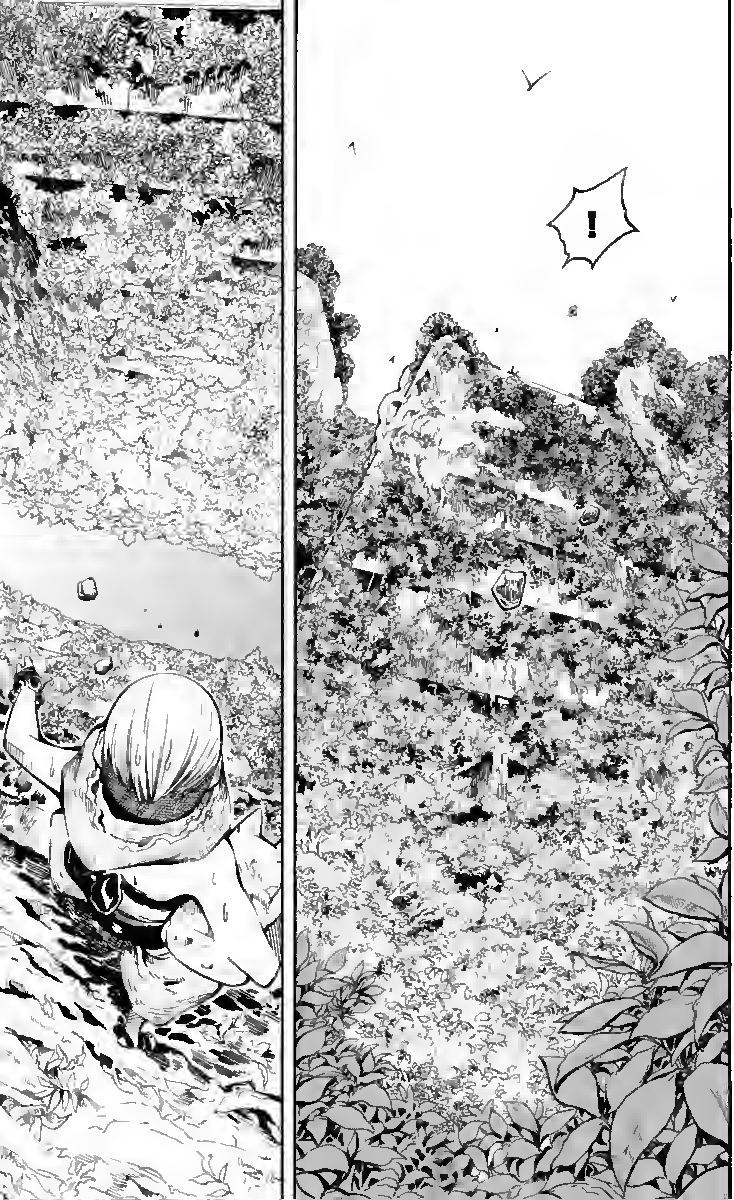
……

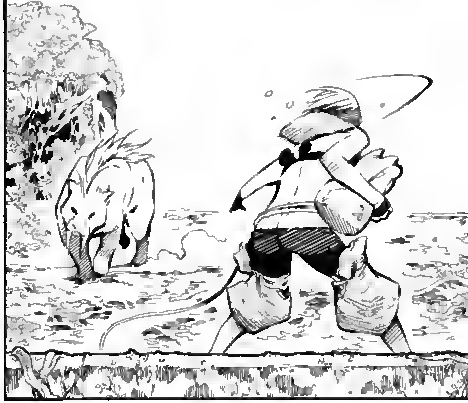

大ピーンチ
ニクちゃん
起きて〜〜
ニ……
ニク〜

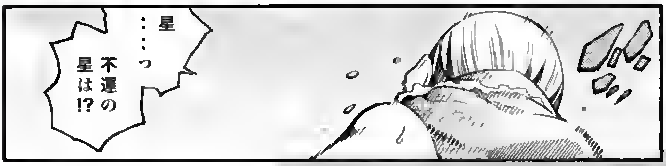
ゼー
ゼー
こ…
ここまで
来れば
!!

そんな〜

このオタカラは私のものよー！







な……なんで!?

アゲハと
ニクは…
とっくに
逃げてる
か…
ま
私といても
不運に
見舞われる
だけだし
今日初めて
会った相手の
ために命を
懸ける理由も
ないしね
川が
ある
オタカラが
本物なら
運良く
助かるかも
オタカラを
捨ててまた
不運な人生に
戻るくらいなら
いっそ

フッコ～
助けに
来たよ～
バ…
バカ！
どーして
来たの!?
どーせ
今日会った
ばかりの仲
でしょうが
と……
ともだち
置いてける
わけない
っしょ～

!!
わっ
私のことは
いいから
早く逃げ
なさい！
今はムリ～
休ませて～
ゼ！

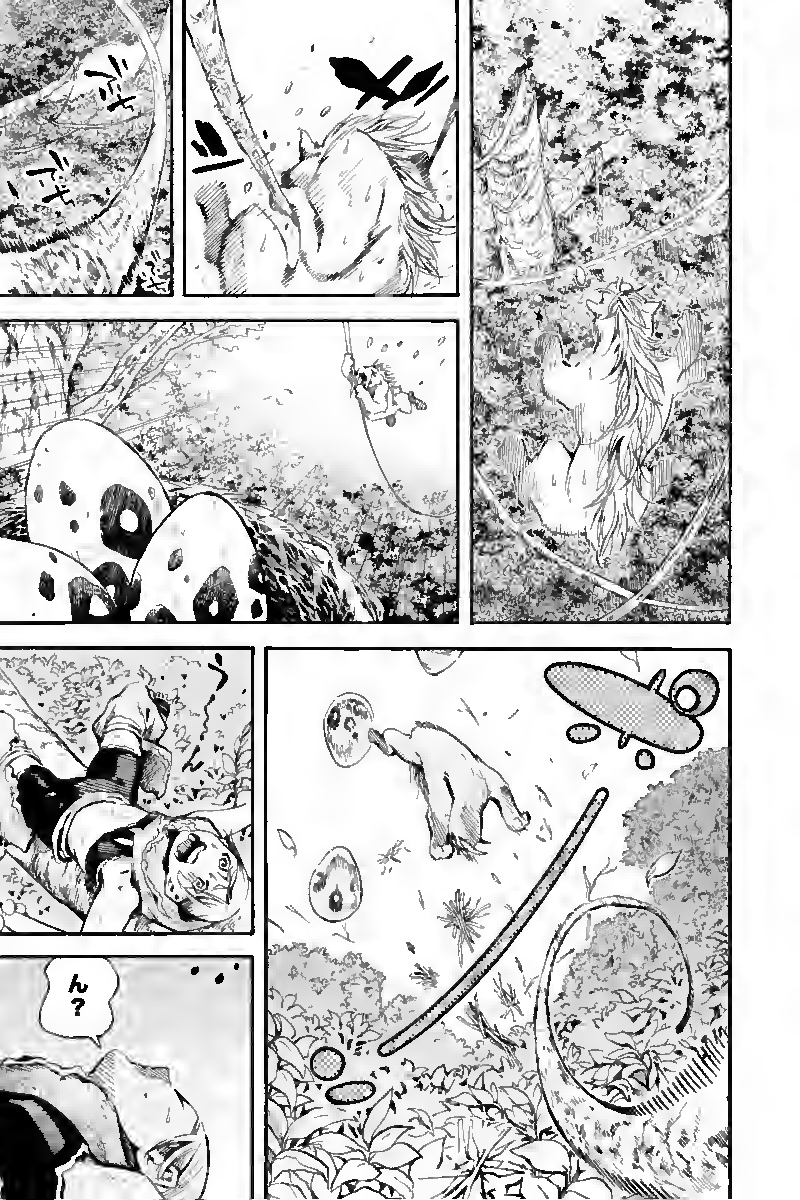
ええ!?
オタカラ
探しに
塔へ!?

やぁ…
一緒に行くのは…
ちょっと
フッコ
運悪いからさ
そんなの気にしないよ！
ともだち置いてけるわけないっしょ～

受け取りなさい！
オタカラよ――!!
ガン
おりゃー!!

わあああああああっ
ど……っ
どいて
わわわわわわ

私の運の悪さ
なめんじゃ――
ないわよ～～っ
ゴゴ


ガサ
ガサ
ん？

ドン
わあっ
ハッ
？
ヒヒーン
ヒヒーン
た……助かった

ヒィ
――って
ないよね
～～～～っ

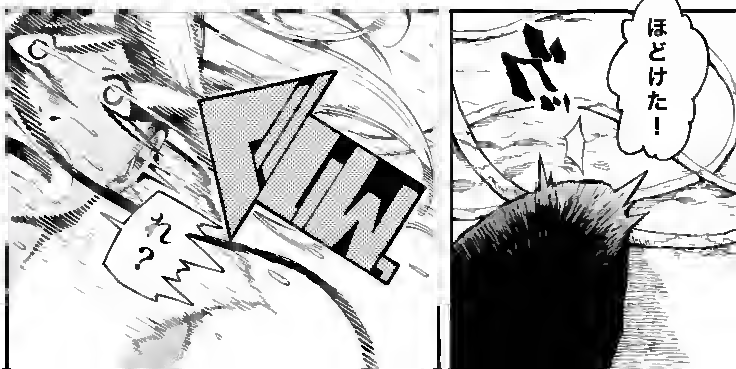
ああずるい！
いやあああああっ

フッコ～～～っ
・・・
大変っ
ニクちゃん
起きて～～～

神の塔……
せっかくここまで来たのに
もう私に出来ることは……
チャリ
道中決してその呪いを込めた腕輪を外すでないぞ
万が一にも外れるようなことがあれば
一生分の不運が降りかかることだろう
……

フッコ～
待ってて
いま
行くよ～

ニク？


ほどけた！
ぐぐ
AIN
れ？

ニク〜〜〜
ニクちゃん
ちょっと
まっ
まっ
ヘンなあえぎ

ニク〜〜
!?
はあぁ……
結局オタカラも手に入らずこんなことになるんなら村にこもってるべきだったかな
村にいたらあの二人には出会えてなかったか
……いや
それだけは——
不幸じゃなかったな
ぁぁーーぁぁ
?
ぁぁ

ガッ

おえっ

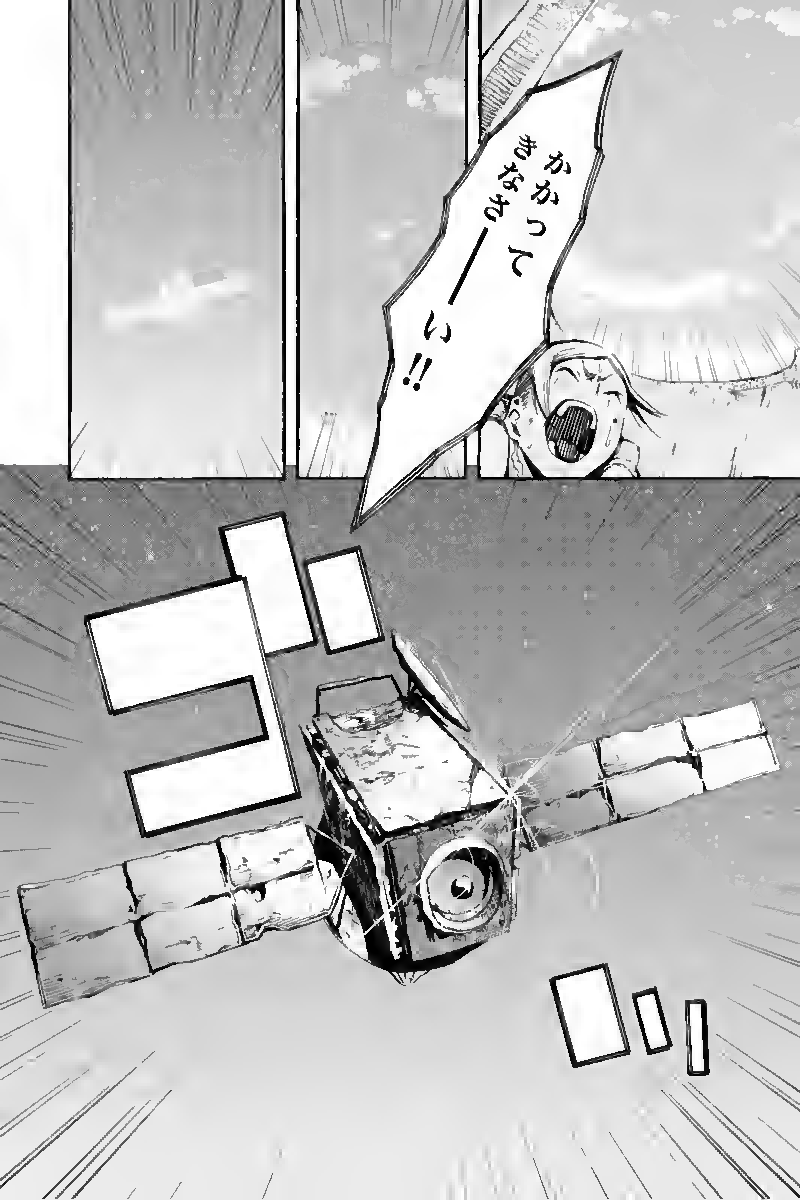
アゲハ!?

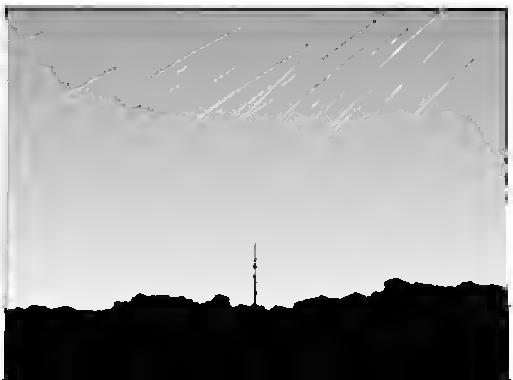
ニク!?

ガ

ニク～～～
バカ！
私の近くに
いると不幸に
なるのよ!?
私のことなんか
置いてさっさと
逃げなさいよ！
だから フッコと
出会えたのは
幸運だって
思ったんだも～ん
ウソでも
カワイイって
ほめてくれたの
フッコが初めて
なんだもん
そーかも
だけど
アグハ…

……
どーなっても
知らない
からね!!
一生分の
不幸でも
なんでも——


かかってきなさーーい!!



わあああああ

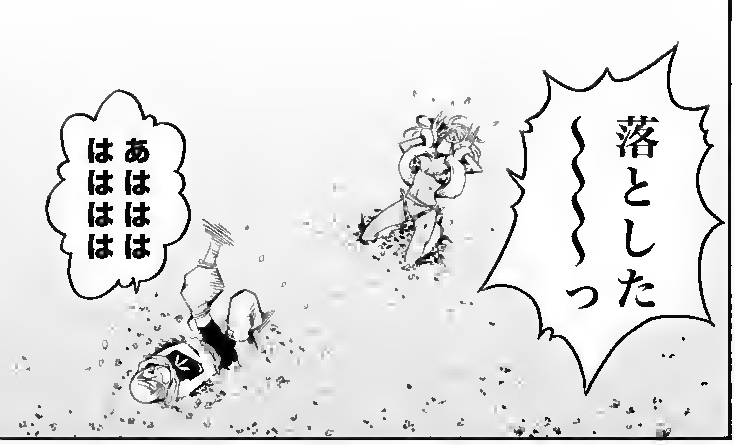
何!?
何!?
何!?
ニク～
？
ホントに
岩降ってくる
ことない
でしょ～～～!?

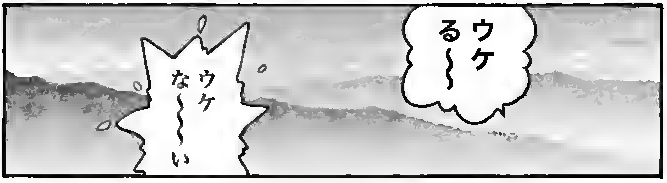
わ〜〜っ
ダメダメ
やめな
さ
クッ
ニイイイイイイイ

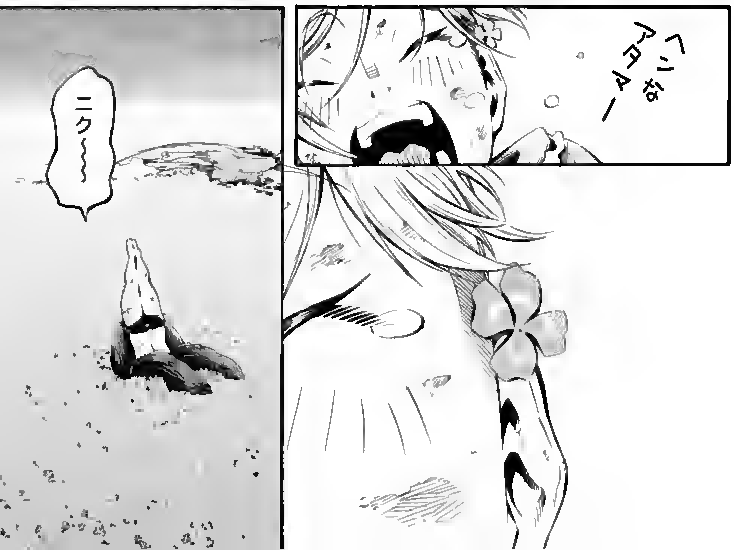
おしまいだ
あ
終わったわこれ

い……
生きてる!?
二人は!?
ヴ……
ヴ～～ん
アゲハ！よかった
大丈

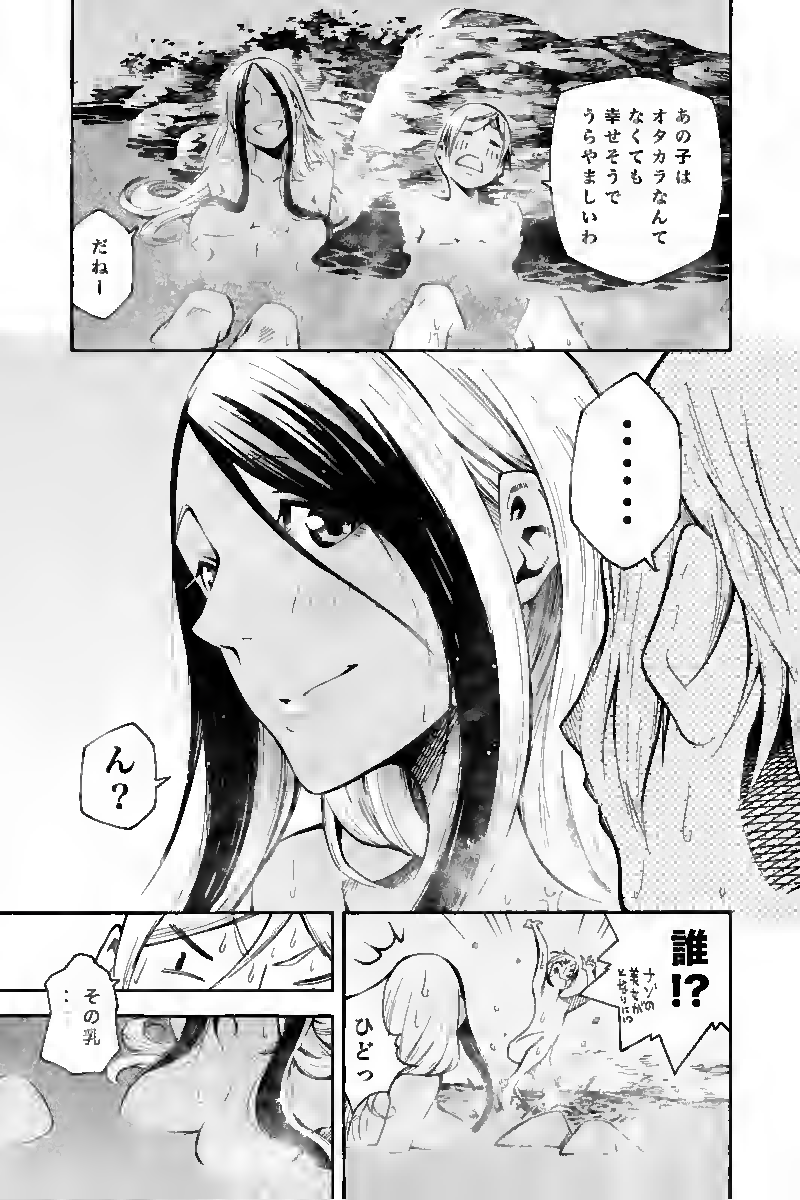
口に土入った～
あ！フッコ無事!?
ぶ
あはははっ何その顔～～
ヤバイ
え!?なに!?
アゲハ今どーなってんの!?
オタカラオタカ――
ら!?


落とした
〜〜〜っ
あはははは
はははは

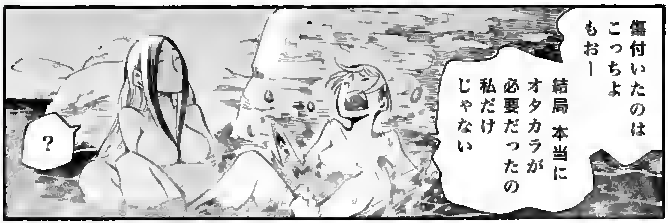

ウケる〜
ウケな〜〜い


「こなアダムー
ニク〜〜

つかれた
ニクッ
ニクッ
ニクッ
ニクッ
ニクー
ちょっとー
私たちの分も
残しておいて
よねー
わかったの
かしら

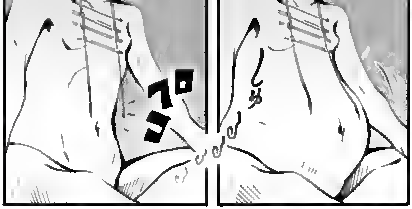

あの子はオタカラなんてなくても幸せそうでうらやましいわ
だねー
……
ん？
誰!?
ナゾの美女がヒダリにいっ
ひどっ
その乳
……

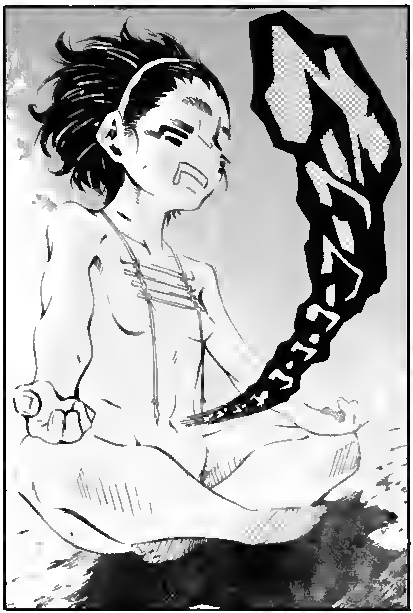
きさまアゲハか！
そこ～～？
今日イチ傷付いたな～


傷付いたのはこっちよもおー
結局 本当にオタカラが必要だったの私だけじゃない
？

どーゆーイミ？
……悔しいから教えない
あれ？そーいえば不運の星は……？

ハァ
ハァ
不運の星は堕ちやがて運命も変わるであろう
オタカラではなく自身の力で変えたのだ
誇るがいい少女よ

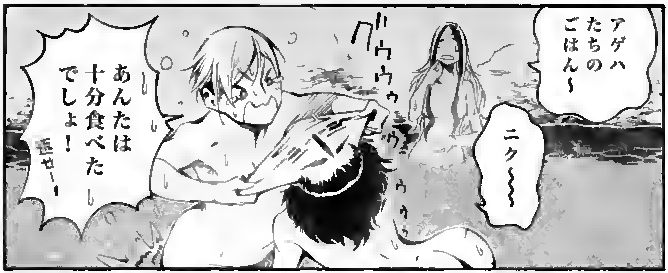

プロン


ムクムクムクムク

しゃべった〜〜〜〜!!
でもなんかムズカしいこと言っててよくわかんないよ?

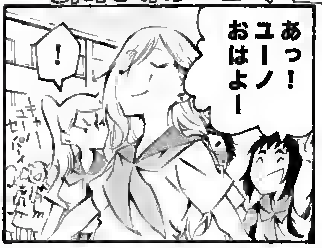
ニク〜〜〜
ウウウウウウ
戻った〜〜〜!!

あっ
…なんだったの今の

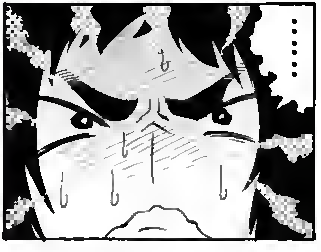

アゲハ
たちの
ごはん〜
ニク〜〜
グウウウウ
あんたは
十分食べた
でしょ!
ウウウ
ウウウ
ウウウ

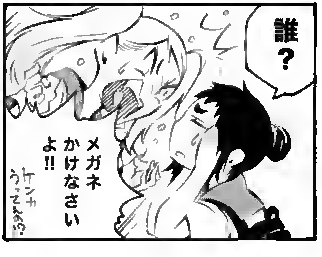
ホント
不幸だわ！

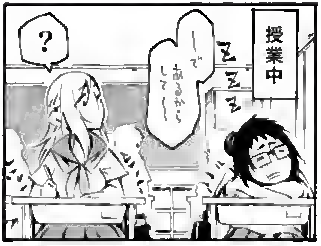
Presented by Iruka Shiomiya

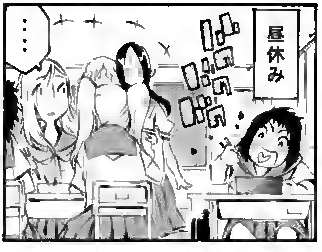

あっ！
ユーノ
おはよー
！

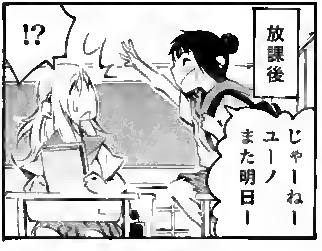
あ～らキシン
今日も態度と声
だけは人一倍ね
ホホホ
もっと先に
大きくすべき所が
あるんじゃない？


……


誰？
メガネ
かけなさい
よ!!


授業中
ZZZ
ーで
あるから
して
？


昼休み
……


放課後
じゃーねー
ユーノ
また明日ー
!?

あの子…
同い年だった
のですか？
あんたも
大概ひどい
わね

こらー
セイ！
ソウ！
何度言えば
わかるん
だ〜っ！

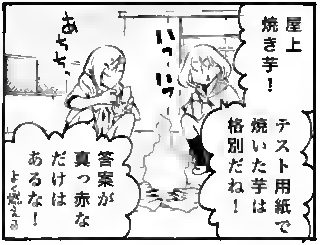
そこまでよ
中等部の
問題児！
ああ
あれは！

やあね
またあの
中等部の
双子？
取り返しの
つかない事を
しでかさなきゃ
いいけど…

鬼の
風紀委員
フッコ先輩!!
連行
します!!

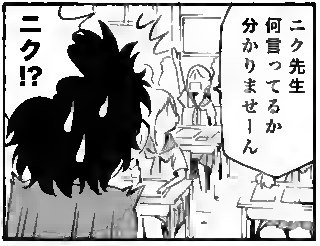
ふっふっふ
今日こそ
こいつで
火を付けて

まったく
学校の屋上で
焚き火なんて
言語道断よ


屋上
焼き芋！
テスト用紙で
焼いた芋は
格別だね！
答案が
真っ赤な
だけは
あるな！

ね〜これ
誰の落とし物？

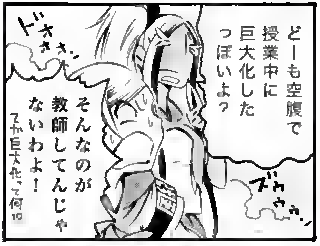
ニク！
ニクニクニ
ニクニク！

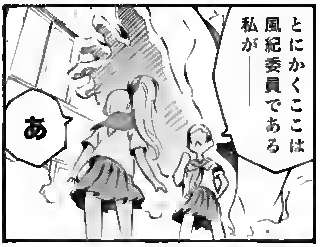

ニク先生
何言ってるか
分かりませーん
ニク!?

ニクニク
ニク！
日本語で
お願い
しまーす
ニ……
ニ……
ニ……
～～～っ

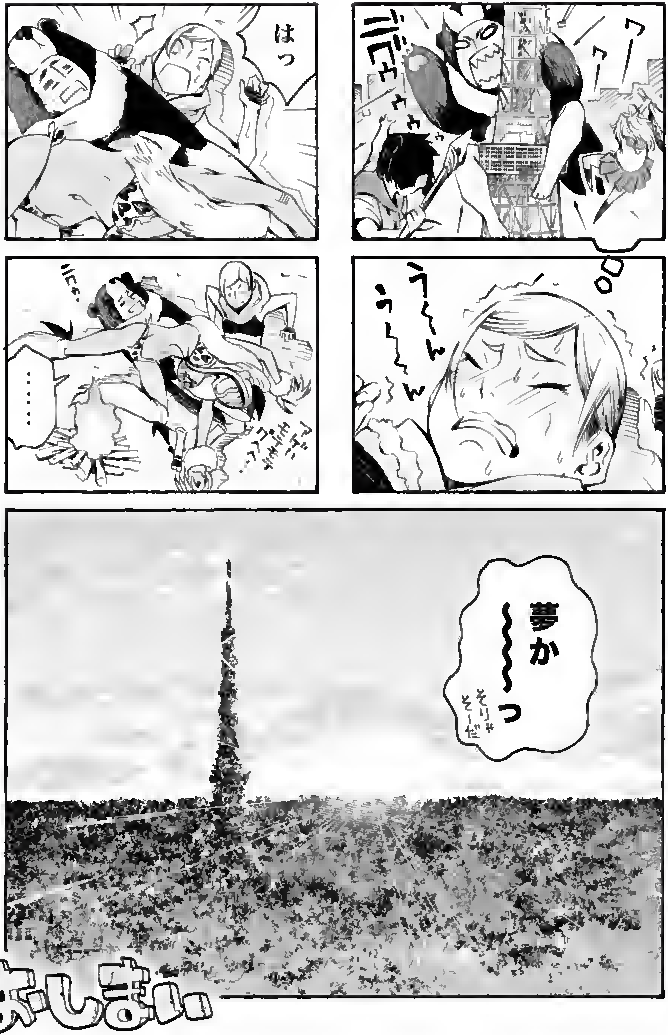
シャ～～～～ッ
せんせー
威嚇しないで
くださーい

わ～っ
暴れニク先生
だーっ
逃げろ～！
キャー
ズゥゥゥゥン
そんな……
ニク先生に
一体何が!?


どーも空腹で
授業中に
巨大化した
っぽいよ？
ドォォォン
ズゥゥゥン
そんなのが
教師してんじゃ
ないわよ！
てか巨人化って何!?


とにかくここは
風紀委員である
私が――
あ

ニクゥゥゥゥ


ワー
ワー
ゴゴゴゴゴ
はっ
うーん
うーん
……
夢か
〜〜〜っ
そりゃそーだ
おしまい